

A161
1
00735252

9
A
341



0037676-000

A 1 6 1 - 1

国際労働機関関係法規

[内務省社会局・訳編]

国際労働機関

1934

AGF

昭和九年四月

贈

昭和九年三月

國際勞動機關關係法規

社會局

立憲國民
政務調查館
圖書之印

昭 9
A
341

A161



BB9

A

341

735252

小 引

一、平和條約勞働編、勞働總會議事規則、委員會議事規則、國際勞働機關ノ締盟國及勞働理事會ノ構成ヲ集録シテ茲ニ國際勞働機關關係法規ト題シ印刷ニ付スルコトトシタリ蓋シ右ハ一ハ以テ事務上ノ便宜ニ資シ他ハ以テ勞働總會出席者ノ參考ニ供セムトスルノ趣旨ニ出ツ

一、平和條約第三百九十三條カ目下改正手續中ニ在ルコトハ其ノ註ニ附記スル通ナリ而シテ勞働總會議事規則ニ付テハ殆ト毎次ノ總會ニ於テ其ノ改正案提出セラレタルカ本冊子ニ集録セルモノハ第十七回迄ノ總會ノ決定ニ係ルモノニシテ今後ニ於テモ相當之カ改正ヲ見ルモノト思考セラル

昭和九年三月

社 會 局

國際勞働機關關係法規

目次

| | |
|-------------------------|----|
| 「ヴェルサイユ」條約第十三編(勞働)..... | 一 |
| 勞働總會議事規則..... | 二五 |
| 委員會議事規則..... | 五〇 |
| 國際勞働機關ノ締盟國..... | 五九 |
| 勞働理事會ノ構成..... | 六一 |

國際勞動機關關係法規

「ヴェルサイユ」條約十三編(勞働)(註)

(註) 「ヴェルサイユ」條約第十三編ノ全文ハ「サン、ジェルマン」條約第十三編(第三百三十二條乃至第三百七十二條、「トリアノン」條約第十三編(第三百五十五條乃至第三百五十五條)及「ヌイイー」條約第十二編(第二百四十九條乃至第二百八十九條)ニ掲ケラル

第一款

勞働機關

國際聯盟ハ世界平和ノ確立ヲ目的トシ而シテ世界平和ハ社會正義ヲ基礎トスル場合ニ於テノミ之ヲ確立シ得ヘキモノナルニ因リ

多數ノ人民ニ對スル不正、困苦及窮乏ヲ伴フ現今ノ勞働狀態ハ大ナル不安ヲ醸生シ惹テ世界ノ平和協調ヲ危殆ナラシムヘキニ因リ彼ノ勞働時間ノ制定殊ニ一日又ハ一週ノ最長勞働時間ノ限定、勞働供給ノ調節、失業ノ防止、相應ノ生活ヲ支フルニ足ル賃銀ノ制定、勞働傷害及疾病ニ對スル勞働者ノ保護、兒童年少者及婦人ノ保護、老年及廢疾ニ對スル施設、自國外ニ於テ使用セララル

労働者ノ利益ノ保護、結社自由ノ原則ノ承認、職業及技術教育ノ組織等ノ如キ手段ヲ以テ前記労働状態ヲ改善スルコトハ刻下ノ急務ナルニ因リ

一國ニ於テ人道的労働條件ヲ採用セサルトキハ他ノ諸國ノ之カ改善ヲ企圖スルモノニ對シ障礙ト爲ルヘキニ因リ

茲ニ締約國ハ正義人道ヲ旨トシ世界恒久ノ平和ヲ確保スルノ冀望ヲ以テ左ノ諸條ヲ協定ス

第一章 機關

第三百八十七條

前文記載ノ目的ヲ達セムカ爲茲ニ常設機關ヲ設置ス

國際聯盟ノ原聯盟國ハ右常設機關ノ原締盟國タルヘク今後國際聯盟ノ聯盟國ト爲ルモノハ同時ニ右常設機關ノ締盟國タルヘキモノトス

第三百八十八條

常設機關ハ(一)締盟國代表者ノ労働總會及(二)第三百九十三條ニ規定スル労働理事會ノ管理ニ屬スル國際労働事務局ヨリ成ル

第三百八十九條

締盟國代表者ノ労働總會ノ會議ハ必要ニ應シ隨時ニ且少クトモ毎年一回之ヲ開クヘシ労働總會ハ各締盟國四名ツツノ代表者ヲ以テ之ヲ組織ス内二名ハ政府ノ代表委員、他ノ二名ハ當該國ニ於ケル使用者及労働者ヲ各代表スル代表委員タルヘシ

各代表委員ハ顧問ヲ同伴スルコトヲ得但シ會議事項ノ各項目ニ付二名ヲ超ユルコトヲ得ス労働總會ニ於テ特ニ婦人ニ關スル問題ヲ議スル場合ニ於テハ顧問中少クトモ一名ハ婦人タルコトヲ要ス締盟國ハ其ノ國ニ於テ使用者又ハ労働者ヲ最能ク代表スル産業上ノ團體カ存在スル場合ニ於テハ該團體トノ協議ニ依リ各民間代表委員及其ノ顧問ヲ任命スルコトヲ約ス

顧問ハ之ヲ同伴スル代表委員ノ請求及總會ノ議長ノ特別ノ許可アル場合ヲ除クノ外發言スルコトヲ得ス又顧問ハ表決ヲ爲スコトヲ得ス

代表委員ハ議長宛ノ通告書ニ依リ其ノ顧問ノ一名ヲ自己ノ代理者トシテ指名スルコトヲ得顧問ハ右代理中發言シ及表決ヲ爲スコトヲ得

代表委員及其ノ顧問ノ氏名ハ各締盟國政府之ヲ國際労働事務局ニ通知スヘシ

代表委員及其ノ顧問ノ委任狀ハ之ヲ労働總會ノ審査ニ付スヘシ労働總會ハ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ本條ニ依リ任命セラレタル者ニ非スト認ムル代表委員又ハ顧問ノ

列席ヲ拒絕スルコトヲ得

第三百九十條

各代表委員ハ勞働總會ニ付議セラレタル一切ノ事項ニ付各別ニ表決ヲ爲スノ權利ヲ有ス
締盟國任命權ヲ有スルニ拘ラス民間代表委員中ノ一名ヲ任命セサルトキハ他ノ民間代表委員ハ勞働總會ニ出席シ發言スルコトヲ得ルモ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十九條ニ依リ勞働總會カ締盟國ノ一代表委員ノ列席ヲ拒絕シタルトキハ該代表委員ノ任命ナカリシモノト看做シ本條ノ規定ヲ適用ス

第三百九十一條

勞働總會ノ會議ハ國際聯盟本部所在地又ハ前會議ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ總會カ議決シタル他ノ地ニ於テ之ヲ開ク

第三百九十二條

國際勞働事務局ハ聯盟機關ノ一部トシテ國際聯盟本部所在地ニ之ヲ設置ス

第三百九十三條 (註)

國際勞働事務局ハ左ノ規定ニ依リ選任シタル二十四名ヲ以テ組織スル勞働理事會ノ管理ニ屬ス

勞働理事會ノ組織ハ左ノ如シ

政府ヲ代表スル者十二名

使用者ヲ代表スル勞働總會代表委員ノ選舉シタル者六名

勞働者ヲ代表スル勞働總會代表委員ノ選舉シタル者六名

政府ヲ代表スル十二名ノ中八名ハ主要産業國タル締盟國之ヲ任命シ他ノ四名ハ右八國以外ノ締盟國ノ勞働總會政府代表委員ニ於テ之カ爲選定シタル締盟國之ヲ任命スヘシ

主要産業國カ何レナルカノ問題ハ國際聯盟ノ聯盟理事會之ヲ決定スヘシ

勞働理事會ノ任期ハ三年トス闕員ノ補充方法其ノ他之ニ類スル事項ハ勞働總會ノ承認ヲ條件トシテ勞働理事會之ヲ定ムルコトヲ得

勞働理事會ハ會員中ノ一名ヲ隨時ニ會長ニ選舉シ議事規則ヲ設ケ及其ノ會議ノ期日ヲ定ム臨時會議ハ會員十名以上ノ書面請求アリタルトキハ之ヲ開クヘシ

(註)

國際勞働總會ノ第四回會議ハ千九百二十二年十一月二日ヲ以テ開催セラレタル其ノ第十九次會議ニ於テ留保六票、八十
二對二票ヲ以テ左ノ第三百九十三條改正案ヲ採擇シタリ右改正案ハ目下「ヴェルサイユ」條約第四百二十二條ノ規定ニ
從ヒ國際勞働機關ノ締盟國ニ於テ審議中ナリ

「國際勞働事務局ハ左ノ三十二名ヲ以テ組織スル勞働理事會ノ管理ニ屬ス

政府ヲ代表スル十六名

使用者ヲ代表スル八名及

労働者ヲ代表スル八名

政府ヲ代表スル十六名中八名ハ主要産業國之ヲ任命シ八名以外ノ締盟國ノ労働總會政府代表委員ニ於テ之カ爲選定シタル締盟國之ヲ任命スヘシ右代表セラレタル十六國中六國ハ歐洲以外ノ國タルヘシ

主要産業國カ何レナルカノ問題ハ國際聯盟ノ聯盟理事會之ヲ決定スヘシ

使用者ヲ代表スル者及労働者ヲ代表スル者ハ労働總會ノ使用者代表委員及労働者代表委員各別ニ之ヲ選舉スヘシ使用

者ノ代表者二名及労働者ノ代表者二名ハ歐洲以外ノ國ノ者タルヘシ

労働理事會ノ任期ハ三年トス

關員補充及代理者任命ノ方法其ノ他之ニ類スル事項ハ労働總會ノ承認ヲ條件トシテ労働理事會之ヲ定ムルコトヲ得

労働理事會ハ其ノ中一名ヲ隨時ニ會長ニ選舉シ議事規則ヲ設ケ及其ノ會議ノ期日ヲ定ム臨時會議ハ労働理事會ニ於ケル代表者十二名以上ノ書面請求アリタルトキハ之ヲ開クヘシ

第三百九十四條

國際労働事務局ニ局長ヲ置キ労働理事會之ヲ任命ス局長ハ労働理事會ノ指揮ヲ受ケ國際労働事務局ノ事務及他ノ委託事務ノ遂行ニ付其ノ責ニ任ス

局長又ハ其ノ代理者ハ労働理事會ノ一切ノ會議ニ列席スヘシ

第三百九十五條

國際労働事務局ノ職員ハ局長之ヲ任命ス右職員ハ國際労働事務局事務ノ成績ヲ舉クルニ差支ナキ限リ成ルヘク國籍ヲ異ニスル諸國人中ヨリ之ヲ選任スヘク且其ノ若干名ハ婦人タルコトヲ要ス

第三百九十六條

國際労働事務局ノ職能ニハ労働者ノ生活状態及労働條件ノ國際的調節ニ關スル一切ノ情報ノ蒐集配布、殊ニ國際條約締結ノ目的ヲ以テ労働總會ニ提出セムトスル事項ノ審査並労働總會ノ命ニ依ル特別調査ノ遂行ヲ含ムモノトス

國際労働事務局ハ労働總會ノ會議事項ヲ準備ス

國際労働事務局ハ國際紛争ニ關シ本編ノ規定ニ依リ其ノ任務ヲ行フ

國際労働事務局ハ國際利害關係アル産業及勞務ノ問題ニ付佛文、英文其ノ他労働理事會カ適當ト認ムル言語ヲ以テ定期刊行物ヲ編輯發行スヘシ

本條ニ定メタル職能ノ外尙國際労働事務局ハ労働總會ノ委託ニ係ル一切ノ權能及任務ヲ有スルモノトス

第三百九十七條

産業及勞務ノ問題ヲ管掌スル締盟國政府ノ各省ハ労働理事會ニ於ケル當該政府ノ代表者、代表者

ナキ場合ニ於テハ之カ爲政府ノ任命シタル當該官吏ヲ經由シテ直接ニ局長ト通信スルコトヲ得

第三百九十八條

國際勞働事務局ハ國際聯盟事務總長ノ助力ヲ受クルコトヲ得ヘキ事項ニ付右助力ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十九條

勞働總會又ハ勞働理事會ノ會議ニ出席スル代表者、代表委員及其ノ顧問ノ旅費及手當ハ各締盟國之ヲ支辨ス

國際勞働事務局並勞働總會及勞働理事會ノ會議ニ關スル他ノ一切ノ費用ハ國際聯盟事務總長聯盟ノ一般資金中ヨリ之ヲ局長ニ交付ス

局長ハ本條ニ依リ交付ヲ受ケタル金錢ノ支出ニ付國際聯盟事務總長ニ對シ其ノ責ニ任スヘシ

第二章 手續

第四百條

勞働總會ノ一切ノ會議ノ會議事項ハ勞働理事會之ヲ決定ス勞働理事會ハ締盟國ノ政府又ハ第三百八十九條ノ目的ノ爲承認セラレタル代表團體ノ提出スル會議事項ノ案ヲ審議スヘシ

第四百一條

局長ハ勞働總會ノ幹事トシテ行動ス會議事項ハ勞働總會ノ開催前四月迄ニ之ヲ各締盟國ニ送達スヘシ民間代表委員ノ選任アリタル場合ニ於テハ當該締盟國ヲ經由シテ之ニ送達スヘシ

第四百二條

締盟國政府ハ勞働總會ノ會議事項中或項目ノ存置ニ對シ反對ヲ述フルノ權ヲ有ス右反對ノ理由ハ局長宛ノ説明書ニ之ヲ記載スヘク局長ハ之ヲ本常設機關ノ各締盟國ニ送付スヘシ尤モ前記ノ反對アリタル項目ト雖勞働總會ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ審議スヘキモノト議決シタルトキハ之ヲ會議事項中ヨリ削除スルコトヲ得ス前項ノ外勞働總會ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ或事項ヲ審議スヘキ旨ヲ議決シタルトキハ該事項ハ之ヲ次期會議ノ事項中ニ加フヘシ

第四百三條

勞働總會ハ自ら會議手續ヲ定メ及議長ヲ選舉スヘシ又各種ノ事項ニ付審査報告ヲ爲サシムル爲委員會ヲ組織スルコトヲ得

本編ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一切ノ事項ハ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ單純多數ニ依

リ之ヲ決ス

爲サレタル表決ノ總數カ勞働總會出席代表委員ノ半數ニ達セサルトキハ採決ハ之ヲ無効トス

第四百四條

勞働總會ハ其ノ組織シタル各委員會ニ專門委員ヲ附屬セシムルコトヲ得專門委員ハ審議ニ參加シ表決權ヲ有セス

第四百五條

勞働總會ニ於テ會議事項中ノ或項目ニ關シ提案ヲ可決シタルトキハ勞働總會ハ該提案ニ付(イ)締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之カ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル爲該締盟國ニ送付スル勸告又ハ(ロ)締盟國ニ依リ批准セラレヘキ國際條約案ノ孰レノ形式ニ依ルヘキカヲ決定ス

勞働總會ニ於テ前項ノ勸告又ハ條約案ヲ可決確定スル爲ニハ孰レノ場合ニ於テモ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ要ス

締盟國一般ニ適用スヘキ勸告又ハ條約案ヲ立案スル場合ニ於テハ勞働總會ハ氣候ノ狀態、産業組織ノ不充分ナル發達其ノ他特殊ノ事情ニ因リ産業狀態著シキ差異アル國ニ關シ相當斟酌ヲ加フヘ

ク且斯ノ如キ國ノ事情ニ適應セシムル爲必要ト認ムルモノアルトキハ右勸告又ハ條約案ニ加フヘキ變更ヲ提示スヘシ

勸告又ハ條約案ハ勞働總會ノ議長及局長其ノ一通ニ署名シテ之ヲ確認シ國際聯盟事務總長ニ寄託スヘク事務總長ハ其ノ勸告又ハ條約案ノ認證謄本ヲ各締盟國ニ送付スヘシ

締盟各國ハ勞働總會閉會後一年以内ニ立法其ノ他ノ措置ヲ執ルカ爲右ノ勸告又ハ條約案ヲ其ノ事項ニ付權限アル機關ノ議ニ付スヘキコトヲ約ス但シ已ムヲ得サル事情ノ爲右期間内ニ其ノ議ニ付スルコト能ハサルトキハ成ルヘク速ニ且如何ナル場合ニ於テモ勞働總會閉會後十八月ヲ超エサル期間内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

勸告ニ付テハ締盟國ハ之ニ關シ執リタル措置ヲ事務總長ニ通告スヘシ

條約案ニ付テハ締盟國ニ於テ其ノ事項ニ關シ權限アル機關ノ同意ヲ得タル場合ニ於テハ右條約ノ正式批准ヲ事務總長ニ通告シ且右條約ノ規定ノ實施ニ必要ナル措置ヲ執ルヘシ

勸告ニ付其ノ實現ニ必要ナル立法其ノ他ノ措置ヲ執ルコトナカリシ場合又ハ條約案ニ付其ノ事項ニ關シ權限アル機關ノ同意ヲ得サリシ場合ニ於テハ締盟國ハ他ノ何等ノ義務ヲ負フコトナシ

勞働事項ニ關スル條約ニ加盟スルノ權能ニ制限アル聯邦國ニ在リテハ當該國政府ハ其ノ裁量ニ依

リ右制限ノ適用アル條約案ヲ單ニ勸告ト認ムルコトヲ得此ノ場合ニハ勸告ニ關スル本條ノ規定ヲ準用ス

本條ハ左ノ原則ニ從ヒ之ヲ解釋スヘシ

締盟國ハ如何ナル場合ニ於テモ勞働總會カ或勸告又ハ條約案ヲ採用シタル結果トシテ其ノ國ノ現行法制上當該勞働者ニ與ヘタル保護ノ減殺ヲ要求セラルルコトナカルヘシ

第四百六條

右ニ依リ批准セラレタル一切ノ條約ハ國際聯盟事務總長之ヲ登録スヘシ該條約ハ之ヲ批准シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ

第四百七條

條約案カ勞働總會ノ最終審議ニ付セラレタル場合ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ同意ヲ得サリシトキト雖本常設機關ノ締盟國ハ右條約案ヲ希望スル各國間ニ於テノミ之ヲ採用スルノ權ヲ有ス

右ニ依リ採用シタル條約ハ當該國政府國際聯盟事務總長ニ之ヲ通知シ事務總長ハ之ヲ登録スヘシ

第四百八條

各締盟國ハ其ノ締結シタル條約ノ規定實施ノ爲執リタル措置ニ關スル年報ヲ國際勞働事務局ニ提出スルコトヲ約ス該年報ノ様式及記載事項ハ勞働理事會ノ指定スル所ニ依ル局長ハ該年報ノ要領ヲ勞働總會ノ次期會議ニ報告スヘシ

第四百九條

使用者又ハ勞働者ノ組織スル産業上ノ團體ヨリ國際勞働事務局ニ對シ締盟國ノ一國カ其ノ締結シタル條約ニ付其ノ管轄内ニ於テ確實ナル履行ヲ爲ササルコトヲ申告シタル場合ニ於テハ勞働理事會ハ其ノ申告ヲ當該國政府ニ移牒シ且右ニ付其ノ相當ト認ムル辯明書ノ提出ヲ勸誘スルコトヲ得

第四百十條

勞働理事會ハ當該國政府ヨリ相當期間内ニ辯明書ヲ接受セス又ハ其ノ接受シタル辯明書ヲ不充分ト認ムル場合ニ於テハ右申告書及之ニ對スル辯明書アルトキハ其ノ辯明書ヲ公表スルノ權ヲ有ス

第四百十一條

各締盟國ハ他ノ締盟國カ前數條ニ依リ共ニ批准シタル條約ノ確實ナル履行ヲ爲サスト認ムル場合ニ於テハ國際勞働事務局ニ對シ異議ヲ提起スルノ權ヲ有ス

労働理事會ハ以下規定スル所ニ從ヒテ右ノ異議ヲ労働審理委員會ニ付スルニ先チ其ノ裁量ニ依リ第四百九條ノ定ムル方法ニ準シ右異議ノ相手國政府ニ之ヲ移牒スルコトヲ得

労働理事會ハ右異議ヲ相手國政府ニ移牒スルノ必要ヲ認めサルトキ又ハ右移牒ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ充分ト認ムル辯明書ヲ相當期間内ニ接受セサルトキハ該異議ノ審査及之ニ關スル報告ヲ爲サシムル爲労働審理委員會ノ設置ヲ求ムルコトヲ得

労働理事會ハ其ノ發意ニ依リ又ハ労働總會ノ代表委員ノ異議ニ基キ同一ノ手續ヲ爲スコトヲ得労働理事會第四百十條又ハ第四百十一條ノ適用ヨリ生スル問題ヲ審議スルニ當リ申告又ハ異議ノ相手國政府カ労働理事會ニ其ノ代表者ヲ有セサル場合ニ於テハ該政府ハ其ノ審議中労働理事會ノ議事ニ參加セシムル爲代表者ヲ出スノ權ヲ有ス審議ノ期日ハ該國政府ニ對シ適當ノ時期ニ之ヲ通知スヘシ

第四百十二條

労働審理委員會ハ左ノ規定ニ依リ之ヲ組織ス

各締盟國ハ本條約實施後六月以内ニ産業上ノ經驗アル者三名ヲ任命スルコトヲ約ス内一名ハ使用者ノ代表者、一名ハ労働者ノ代表者、他ノ一名ハ中立ノ地位ニ在ル者タルヘシ労働審理委員會ノ

委員ハ右任命セラレタル者ノ名簿中ヨリ之ヲ選定スヘシ

右任命セラレタル者ノ資格ハ労働理事會之ヲ審査ス労働理事會ハ資格カ本條ノ要件ニ適合セスト認ムル者ノ任命ニ對シ出席代表者ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ承認ヲ拒ムコトヲ得労働理事會ノ請求アリタルトキハ國際聯盟事務總長ハ労働審理委員會ヲ組織セシムル爲前記名簿ノ各部ヨリ一名ツツ三名ヲ選定シ内一名ヲシテ之カ議長タラシムヘシ右三名ハ何レモ直接ニ異議ニ關係アル締盟國ノ任命シタル者ナラサルコトヲ要ス

第四百十三條

第四百十一條ニ依リ異議カ労働審理委員會ニ付セラレタル場合ニ於テハ各締盟國ハ直接之ニ關係アルト否トニ拘ラス該異議事項ニ付其ノ有スル一切ノ資料ヲ労働審理委員會ニ提供スルコトヲ約ス

第四百十四條

労働審理委員會異議ニ付充分ナル審査ヲ了シタルトキハ之ニ關スル報告書ヲ作成スヘシ報告書ニハ係争問題ノ決定ニ關係アル一切ノ事實ノ認定並該異議ニ對シ執ルヘキ處置及之カ實行期限ニ關シ適當ト認ムル勸告ヲ記載スルモノトス

勞働審理委員會ハ又勸告ヲ實行セサル政府ニ對スル適當ナル經濟的制裁手段ニシテ他ノ諸政府之ヲ採用シテ可ナリト認ムルモノアル場合ニ於テハ之ヲ其ノ報告書中ニ指示スヘシ

第四百十五條

國際聯盟事務總長ハ勞働審理委員會ノ報告書ヲ異議ニ關係アル各國政府ニ交付シ又之ヲ公表セシムヘシ

前項ノ送付ヲ受ケタル各國政府ハ勞働審理委員會ノ報告書ニ記載スル勸告ヲ採用スルヤ否ヤ、若シ之ヲ採用セストセハ當該異議ニ付國際聯盟ノ常設國際司法裁判所ノ裁判ヲ求ムルノ意思アリヤ否ヤヲ一月以内ニ國際聯盟事務總長ニ通告スヘシ

第四百十六條

締盟國中勸告又ハ條約案ニ關シ第四百五條ニ依ル措置ヲ執ラサル者アル場合ニ於テハ他ノ締盟國ハ右ニ付常設國際司法裁判所ノ裁判ヲ求ムルノ權ヲ有ス

第四百十七條

第四百十五條又ハ第四百十六條ニ依リ常設國際司法裁判所カ裁判ヲ求メラレタル異議又ハ他ノ事項ニ付其ノ爲シタル判決ハ終結トス

第四百十八條

常設國際司法裁判所ハ勞働審理委員會ノ爲シタル事實ノ認定又ハ勸告アル場合ニ於テハ之ヲ確認シ、變更シ又ハ廢棄スルコトヲ得勸告ヲ實行セサル政府ニ對スル適當ナル經濟的制裁手段ニシテ他ノ諸政府之ヲ採用シテ可ナリト認ムルモノアル場合ニ於テハ之ヲ該判決中ニ指示スヘシ

第四百十九條

勞働審理委員會ノ報告書又ハ常設國際司法裁判所ノ判決中ニ勸告ノ記載アル場合ニ於テ締盟國カ其ノ勸告ヲ所定ノ期間内ニ實行セサルトキハ他ノ各締盟國ハ右勸告ヲ實行セサル國ニ對シ前記ノ報告書又ハ判決中ニ適當ナリトシテ指示シタル經濟的制裁手段ヲ執ルコトヲ得

第四百二十條

勸告ヲ實行セサル政府ハ勞働審理委員會ノ勸告又ハ常設國際司法裁判所判決中ノ勸告ニ遵由スルニ必要ナル處置ヲ執リタル旨何時タリトモ勞働理事會ニ通知シ且其ノ通知ノ内容ヲ確ムル爲勞働審理委員會ノ開設ヲ國際聯盟事務總長ニ申立ツルコトヲ勞働理事會ニ請求スルコトヲ得第四百十二條乃至第四百十五條、第四百十七條及第四百十八條ノ規定ハ右ノ場合ニ之ヲ適用ス勞働審理委員會又ハ常設國際司法裁判所カ當該政府ニ對シ有利ナル報告又ハ判決ヲ爲シタル場合ニ於テハ他

ノ諸政府ハ直ニ之ニ對スル經濟的制裁手段ヲ停止スヘシ

第三章 一般規定

第四百二十一條

締盟國ハ本編ノ規定ニ依リ批准シタル諸條約ヲ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ左ノ條件ノ下ニ適用スルコトヲ約ス

- 一 條約カ土地ノ狀況ニ照シ適用不可能ニ非サルコト
 - 二 土地ノ狀況ニ適應セシムル爲條約ニ必要ナル變更ヲ加フルコト
- 締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ付其ノ執リタル措置ヲ國際勞働事務局ニ通告スヘシ

第四百二十二條

本編ノ改正ハ勞働總會ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ之ヲ可決シ國際聯盟理事會ヲ組織スル代表者ノ屬スル各國及總數四分ノ三ノ締盟國之ヲ批准シタル場合ニ於テ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第四百二十三條

本編ノ解釋又ハ締盟國間ニ於テ將來本編ノ規定ニ基キ締結スル條約ノ解釋ニ關スル疑義又ハ紛争ハ之ヲ常設國際司法裁判所ノ裁判ニ付スヘキモノトス

第四章 經過規定

第四百二十四條

勞働總會ノ第一回會議ハ千九百十九年十月之ヲ開クヘシ會議ノ地及會議事項ハ附屬書ニ之ヲ定ム第一回會議ノ招集及組織ハ右附屬書ニ指定スル政府之ヲ準備ス該政府ハ勞働總會ニ提出スヘキ書類ノ作成ニ付同附屬書ニ依リ組織シタル國際準備委員會ノ助力ヲ受クヘシ第一回會議ノ經費及國際聯盟カ一般資金ヲ設定シ得ルニ至ル迄ニ開催スル爾後ノ會議ノ經費ハ代表委員及其ノ顧問ノ經費ヲ除クノ外萬國郵便聯合總理局ノ經費分擔ノ割合ニ從ヒ締盟國之ヲ負擔ス

第四百二十五條

本款ノ規定ニ依リ國際聯盟事務總長ニ提出スヘキ一切ノ書類ハ國際聯盟ノ組織セララル迄ノ間國際勞働事務局長之ヲ保管シ追テ國際聯盟事務總長ニ之ヲ引繼クヘシ

第四百二十六條

本編ノ規定ニ依リ常設國際司法裁判所ノ裁判ヲ求ムヘキ紛争ハ該裁判所ノ開設ニ至ル迄ノ間國際聯盟理事會選定ノ三名ヲ以テ組織スル裁判所ニ之ヲ付託スヘシ

附 屬 書

千九百十九年第一回勞働總會會議

會議ノ地ハ華盛頓トス

會議ノ招集ハ亞米利加合衆國政府ニ之ヲ委囑ス

國際準備委員會ハ亞米利加合衆國、大不列顛國、佛蘭西國、伊太利國、日本國、白耳義國及瑞西國ノ任命スル七名ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス右委員會ハ必要ト認ムルトキハ前託以外ノ締盟國ニ對シ代表者ノ任命ヲ求ムルコトヲ得

會議事項

- 一 一日八時間又ハ一週四十八時間ノ原則ノ適用ノ件
- 二 失業ニ對スル豫防又ハ救濟ノ件
- 三 婦人使用ノ件

(イ) 産前産後(産婦ニ對スル手當問題ヲ含ム)

(ロ) 夜間

- (ハ) 健康上有害ナル作業
- 四 兒童使用ノ件
 - (イ) 使用ノ最低年齢
 - (ロ) 夜間
 - (ハ) 健康上有害ナル作業
- 五 産業ニ使用セラレル婦人ノ夜業ノ禁止及燐寸製造ニ於ケル黃燐使用ノ禁止ニ關スル千九百
六年「ベルヌ」國際條約ノ擴張及適用ノ件

第二款

一般原則

第四百二十七條

締約國ハ産業ニ従事スル賃銀生活者ノ身體上道德上及智能上ノ福祉ハ最重要ナル國際事項ナリト認メ此ノ大ナル目的ノ爲茲ニ國際聯盟ノ機關ト相待チテ第一款ニ規定スル常設機關ヲ組織シタリ締約國ハ氣候、慣行及習俗、經濟上ノ機會並産業上ノ因襲ノ相異ハ勞働條件ノ劃一ヲ急速ニ實現スルコトヲ困難ナラシムルモノト認ム然レトモ締約國ハ現ニ勞働カ單ナル商品ト看做サルヘキモノニ非スト認ムルカ故ニ勞働條件ヲ規律スル方法及原則ニシテ一切ノ産業國カ各自ノ特殊事情ノ許ス限リ之カ適用ヲカムヘキモノノ存スルヲ認ム

締約國ニ於テハ右方法及原則中左ニ掲クルモノヲ以テ特別且緊急ノ必要アルモノト認ム

- 一 勞働ハ單ニ貨物又ハ商品ト認ムヘキモノニ非ストノ前記ノ基本原則
- 二 使用者又ハ被用者カ一切ノ適法ナル目的ノ爲結社スルノ權利
- 三 其ノ時及其ノ國ニ於テ相當ト認メラレル生活程度ヲ維持スルニ足ル賃銀ヲ被用者ニ支拂フ

ヘキコト

- 四 一日八時間又ハ一週四十八時間ノ制ヲ實行スルニ至ラサル諸國ニ於テハ之ヲ其ノ到達ノ目標トシテ採用スヘキコト
 - 五 日曜日ヲ成ルヘク包含シ二十四時間ヲ下ラサル毎週一回ノ休息ヲ與フルノ制ヲ採用スヘキコト
 - 六 兒童勞働ヲ廢止スヘキコト及年少者ノ勞働ニ對シ其ノ教育ヲ繼續スルコトヲ得且身體ノ正當ナル發達ヲ確保スヘキ制限ヲ設クヘキコト
 - 七 同一價值ノ勞働ニ對シテハ男女同額ノ報酬ヲ受クヘキ原則
 - 八 各國カ其ノ法令ニ依リ定ムル勞働條件ニ關スル標準ハ適法ニ其ノ國ニ居住スル一切ノ勞働者ニ對スル衡平ナル經濟上ノ待遇ヲ確保スヘキコト
 - 九 各國ハ被用者ノ保護ヲ目的トスル法令ヲ勵行スル爲監督ノ制度ヲ設ケ婦人ヲシテ之ニ參加セシムヘキコト
- 締約國ハ前記ノ方法及原則ヲ以テ完全不易ノモノト主張セスト雖右ハ國際聯盟ノ政策ヲ指導スルニ適切ナルコトヲ信シ若シ國際聯盟國タル各產業國ニ對シテ之ヲ採用シ且妥當ナル監督ノ制度ニ依リテ其ノ實行ヲ保障スルニ於テハ必ス世界ノ貧窮生活者ノ上ニ恒久ノ福利ヲ齎スヘキコトヲ疑ハス

勞働總會議事規則

第一條 總會ノ構成

- 一、總會ハ國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ適法ニ任命セラレタル凡テノ代表委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 二、各代表委員ハ顧問ヲ同伴スルコトヲ得該顧問ハ當該會議ノ會議事項ノ各項目ニ付二名ヲ超ユルコトヲ得ス
- 三、代表委員及其ノ顧問ノ總會議場ニ於ケル議席ハ勞働理事會之ヲ定ム

第二條 總會ノ假役員

總會ハ國際勞働事務局ノ理事會長該理事會ノ其ノ他ノ役員ノ助力ヲ受ケ之ヲ開會ス右假役員ハ總會ノ議長其ノ職ニ就クニ至ル迄引續キ其ノ職務ヲ執ル

第三條 委任狀ノ審査

- 一、代表委員及其ノ顧問ノ委任狀ハ總會ノ當該會議ノ遅クトモ開會期日十五日前ニ之ヲ國際勞働事務局ニ寄託スヘシ
- 二、勞働理事會長ノ作成ニ係ル右委任狀ニ關スル概要報告ハ委任狀ト共ニ總會會議開催ノ前日之

- ヲ代表委員ノ査閲ニ付スヘシ該報告ハ第一回會議ノ議事録附録トシテ之ヲ公表スヘシ
- 三、代表委員又ハ顧問ノ任命ニ關シ提起スル抗議ハ總會ノ役員ニ之ヲ申立ツヘク且右役員ハ第七條(ハ)ニ定ムル資格審査委員會ニ之ヲ交付スヘシ
- 四、總會開會ノ日ヨリ四日以内ニ總會ノ役員ニ申立テラレサル抗議ハ之ヲ無効トス極メテ例外ノ事情ノ爲本條第二項ニ掲クル概要報告中ニ於テ處理スヘキ時迄ニ寄託セラレサル委任狀ノ場合ニ於テハ右四日ノ期間ハ假議事録ニ於ケル代表委員氏名ノ發表ノ日ヨリ始マルモノトス
- 五、但シ抗議カ遠隔國ノ代表ニ關シ提出セラレ從テ通信著シク遲滯スルノ止ムヲ得サル場合ニ於テハ該抗議ハ最終報告作成ノ日迄之ヲ受理スルモノトス
- 六、抗議ニシテ其ノ提出者カ匿名ナルモノ及事實又ハ主張ニシテ總會カ既ニ討議シ且同一ノ事實又ハ主張ニ關スル辯論及決定ニ依リ不當又ハ無根ト認メタルモノニ基ク抗議ハ之ヲ受理スルコトヲ得ス
- 七、代表委員又ハ顧問ニシテ其ノ任命ニ對シ抗議ノ提起アリタルモノハ其ノ列席問題ノ最終決定アル迄ノ間他ノ代表委員又ハ顧問ト同一ノ權利ヲ有ス

第四條 總會ノ役員

- 一、總會ノ役員ハ議長一名及副議長三名トシ何レモ國籍ヲ異ニスルモノタルコトヲ要ス右役員ハ總會之ヲ選任ス婦人ハ前記何レノ役員ニモ選任セララルコトヲ得
- 二、政府、使用者及労働者ノ代表團ハ其ノ團員中ヨリ副議長トシテ各一名ヲ指名スヘシ尤モ右ハ總會ノ同意ヲ得ルモノトス
- 三、副議長指名ノ順位ハ總會ノ會議毎ニ之ヲ變更スヘシ代表團ハ左ノ輪番ニ從ヒ指名ノ優先權ヲ有ス
- 政府代表團、使用者代表團、労働者代表團
- 右輪番ハ第五回總會ニ於ケル抽籤ノ示ス代表團ヲ以テ始マル
- 四、或代表團カ指名ノ優先權ヲ有スル代表團ノ指名スル副議長ヲ指名シタルトキハ其ノ指名ハ之ヲ無効トス

第五條 書記局

- 一、總會書記局ノ事務ハ國際労働事務局ノ理事會ノ之カ爲任命シタル該事務局ノ局員之ヲ處理スルモノトス
- 二、國際労働事務局長ハ總會ノ書記局長タルヘク且書記局ニ付其ノ責ニ任ス該局長ハ國際労働事

務局ノ理事會ノ任命スル一名又ハ一名以上ノ副書記局長ニ依リ輔佐セラルルコトヲ得

三、總會書記局ハ殊ニ文書、報告及決議ノ接受、印刷、配布及翻譯、會議ニ於ケル演說ノ翻譯、議事速記録ノ調製、議事報告ノ印刷及配布、總會議事録ノ保管、當該會議確定議事録ノ刊行並一般ニ總會カ該局ニ委任スルヲ適當ナリト認ムル其ノ他ノ一切ノ事務ニ付其ノ責ニ任ス

第六條 手續

總會ノ手續ハ左ノ通トス

- 一、締盟國政府ヨリ會議事項中ノ或項目ニ對シ反對ノ申立テアリタルトキハ總會ハ理事會ノ之ニ關シ提出スル報告ヲ聽取シタル後右項目ヲ會議事項中ニ存置スヘキヤ否ヤヲ「ヴェルサイユ」條約第四百二條ニ從ヒ決定スヘシ
- 二、總會ハ第七條(ロ)ニ定ムル詮衡委員會ヲ選任スヘシ
- 三、總會ハ當該會議中且詮衡委員會ノ定ムル日ニ於テ從來ノ會議ノ決議ヲ實施スル爲執リタル措置及達成シタル結果ニ關シ國際勞働事務局長ノ提出スル報告ヲ討議スヘシ
- 四、或問題カ總會ノ會議事項ニ加ヘラレタルトキハ國際勞働事務局ハ各國ニ於ケル法令及慣行ヲ示ス準備報告ヲ總會ニ提出スヘシ右ノ報告ハ各國政府ニ諮問スヘキ諸點ヲ能フ限り完全ニ決定

スヘク且理事會又ハ當該目的ノ爲ニ任命セラレタル理事會ノ委員會ノ承認ヲ經テ總會ノ開會前事務局ニ依リ各國政府宛通告セラルヘシ

五、右報告ハ總會ニ依リ本會議又ハ委員會ノ一般討議ニ付セラルヘク且總會カ該事項ヲ條約案又ハ勸告ノ題目ト爲スコト適當ナリト決定シタルトキハ右總會ハ結論又ハ決議ノ承認ニ依リ各國政府ニ諮問スヘキ諸點ヲ決定スヘシ次テ總會ハ「ヴェルサイユ」條約第四百二條第三項ニ從ヒ該項目ヲ次期會議ノ會議事項ニ掲クヘキヤ否ヤヲ決定スヘシ

六、國際勞働事務局ハ總會ノ決定ヲ基礎トシテ總會ノ閉會後一月以内ニ各國政府ニ提出スヘキ質問書ヲ作成スヘシ

七、各國政府ノ回答ニ基キ國際勞働事務局ハ條約案又ハ勸告ノ草案ヲ包含スル最終報告ヲ作成スヘシ右ノ報告ハ國際勞働事務局ニ依リ各國政府宛通告セラルヘク且可能ナルトキハ次期總會ノ開會三月前ニ之ニ到着スヘシ

八、總會ハ國際勞働事務局ノ作成ニ係ル條約案又ハ勸告ノ草案ヲ會議事項中ノ或項目ニ關スル討議ノ基礎トシテ採用スヘキヤ否ヤヲ決定スヘク且此等ノ條約案又ハ勸告ノ草案ヲ總會本會議ニ於テ審議スヘキヤ又ハ委員會ニ付託シテ報告セシムヘキヤヲ決定スヘシ右ノ決定ヲ爲スニ先チ

總會本會議ニ於テ條約案又ハ勸告ノ草案ノ一般原則ニ關シ討論ヲ爲スコトヲ得

九、條約案又ハ勸告ヲ總會本會議ニ於テ審議スル場合ニ於テハ各條項毎ニ總會ノ採擇ニ付スヘシ總會ハ討論中及一切ノ條項ノ討議終了スル迄ハ右ノ條約案又ハ勸告ノ條項ヲ修正スル動議又ハ議事手續ニ關スル動議ノ外加何ナル動議モ之ヲ審議スルコトヲ得ス

十、條約案又ハ勸告ヲ委員會ニ付託スル場合ニ於テハ總會ハ該委員會ノ報告ヲ接受シタル後第九項ニ定ムル規則ニ從ヒ條約案又ハ勸告ノ討議ヲ行フヘシ右ノ討議ハ右報告寫ノ代表委員ニ配布セラレタルノ日ノ翌日前ニ之ヲ行フコトヲ得ス

十一、總會ハ條約案又ハ勸告ノ逐條討議中一條又ハ一條以上ヲ委員會ニ付託スルコトヲ得

十二、總會カ委員會ノ報告中存スル條約案ヲ拒否シタルトキハ代表委員ハ該條約案ヲ勸告ニ變形スルノ審議ヲ爲ス爲之ヲ委員會ニ再付託スヘキヤ否ヤヲ直ニ決定スルコトヲ總會ニ要求スルコトヲ得總會カ本件ヲ再付託スルコトヲ決定シタルトキハ委員會ノ報告ハ會議終了前之ヲ總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムヘキモノトス

十三、總會ノ採擇スル條約案又ハ勸告ノ規定ハ確定本文作成ノ爲第七條ニ定ムル起草委員會ニ之ヲ付託スヘシ該本文ハ代表委員ニ之ヲ配布スルモノトス

十四、右本文ハ之ヲ修正スルコトヲ得サルモ議長ハ本規定ニ拘ラス起草委員會ノ修正シタル該本文配布ノ翌日中ニ書記局ニ交付セラレタル修正案ヲ三名ノ副議長ト協議ノ上總會ニ提出スルコトヲ得

十五、總會ハ起草委員會ノ作成ニ係ル本文ヲ接受シタル上且前項ニ從ヒ提起セラルル修正アルトキハ之ヲ討議シタル後ニ於テ「ヴェルサイユ」條約第四百五條ニ從ヒ條約案又ハ勸告ノ採擇ニ付最終表決ヲ採ルヘシ

十六、條約案カ最終表決ニ於テ必要ナル三分ノ二ノ多數ヲ得サルモ單純多數ヲ得タルトキハ總會ハ該條約案ヲ勸告ノ形式ニ起草セシムル爲之ヲ起草委員會ニ付託スヘキヤ否ヤヲ直ニ決定スヘシ總會カ起草委員會付託ヲ承認シタルトキハ條約案ニ包含セララルル提案ハ當該會議終了前勸告ノ形式ニ於テ之ヲ總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムヘシ

十七、佛蘭西語及英吉利語ノ正文ノ採擇セラレタル後條約案及勸告ノ公正譯文ハ關係國政府ノ要求ニ基キ國際勞動事務局長之ヲ作成シ且國際聯盟事務總長ニ之ヲ寄託スルコトヲ得、條約案及勸告ノ適用ニ付當該國ニ於テ右譯文ヲ公正ノモノト認ムルヤ否ヤハ關係國政府ノ任意トス

第六條(其ノ二) 條約ノ修正ノ場合ニ於ケル手續

曩ニ總會ニ依リ採擇セラレタル條約ノ全部又ハ一部ノ修正カ會議事項ニ加ヘラレタルトキハ總會ハ第六條第四項乃至第十三項及第十六項ノ規定ハ之ヲ適用セス左ノ規定ニ從テ之ヲ處理スヘシ

一、國際勞働事務局ハ曩ニ採擇セラレタル條約ノ全部又ハ一部ノ修正ヲ勸告シ且當該問題ノ修正提案カ會議事項ニ加ヘラレタル其ノ問題ニ對當スル理事會報告ノ結論ニ從テ作成シタル修正案ノ草案ヲ總會ニ提出スヘシ「ヴェルサイユ」條約第四百條ニ從ヒ且右條約第四百二條第三項ノ規定ノ留保ノ下ニ總會ハ理事會ニ依リ會議事項ニ加ヘラレタル問題ニ付テノ外曩ニ採擇セラレタル條約ヲ全部又ハ一部修正スルコトヲ得ス

二、總會ハ國際勞働事務局ノ作成ニ係ル修正案ノ草案ヲ討議ノ基礎トシテ採用スヘキヤ否ヤヲ決定スヘク且此等ノ修正案ノ草案ヲ總會本會議ニ於テ審議スヘキヤ又ハ委員會ニ付託シテ報告セシムヘキヤヲ決定スヘシ右ノ決定ヲ爲スニ先チ總會本會議ニ於テ會議事項ニ依リ認メラレタル範圍内ニ於テ修正案ノ草案ノ一般原則ニ關シ討論ヲ爲スコトヲ得

三、修正案ノ草案ヲ總會本會議ニ於テ審議スル場合ニ於テハ其ノ各々ヲ順次ニ總會ノ採擇ニ付スヘシ總會ハ討論中及一切ノ修正案ノ草案ノ討議終了スル迄ハ右ノ修正案ノ一本文ヲ修正スル勸議又ハ議事手續ニ關スル勸議ノ外如何ナル勸議モ之ヲ審議スルコトヲ得ス

四、修正案ノ草案ヲ委員會ニ付託スル場合ニ於テハ總會ハ該委員會ノ報告ヲ接受シタル後前項ニ定ムル規定ニ從ヒ各修正案草案ノ本文ニ付順次ニ討議ヲ行フヘシ右ノ討議ハ右報告寫ノ代表委員ニ配布セラレタル日ノ翌日前ニ之ヲ行フコトヲ得ス

五、總會ハ修正案草案ノ討議中其ノ一又ハ二以上ヲ委員會ニ付託スルコトヲ得

六、總會ニ依リ採擇セラレタル修正案及修正ヲ受クヘキ條約ノ修正セラレサル規定ノ附隨的修正案ハ之ヲ起草委員會ニ付託スヘク右起草委員會ハ修正ヲ受クヘキ條約ノ修正セラレサル規定ヲ之ニ結合シ以テ修正セラレタル形式ニ於テ條約案ノ確定本文ヲ作成スヘシ右本文ハ之ヲ代表委員ニ配布スヘシ

第七條 委員會

イ、一切ノ委員會ニ適用シ得ル規定

一、總會ハ「ヴェルサイユ」條約第四百三條ニ從ヒ其ノ必要ト認ムル目的ノ爲ニ委員會ヲ設クルコトヲ得

二、本條ハ及ニ、ニ列舉スル委員會以外ノ委員會ノ事業ハ總會ノ諸委員會ニ關スル議事規則ヲ以テ之ヲ規律スヘシ

三、委員會ノ會議ハ原則トシテ總會ノ本會議ト同時ニ之ヲ開クコトヲ得ス
 四、總會ハ「ヴェルサイユ」條約第四百四條ニ從ヒ本條ハ及ニ、ニ列擧スル委員會以外ニ於テ其ノ設クル委員會ニ専門委員ヲ附屬セシムルコトヲ得専門委員ハ討議ニ參加スル權利アルモ表決權ヲ有セス

ロ、詮衡委員會

一、總會ハ第六條ニ定ムル通各代表團ノ指名ニ係リ且政府代表團員十二名、使用者代表團員六名及勞働者代表團員六名ヨリ成ル詮衡委員會ヲ其ノ成立後直ニ選任スヘシ各代表團ニ於テ一國ハ一名以上ノ委員ヲ有スルコトヲ得ス

二、右委員會ハ總會ノ決定ヲ參酌シテ其ノ議事ノ順序ヲ定ムルヲ以テ其ノ主タル任務トス右委員會ハ本會議ノ日及各會議ノ會議事項ヲ定メ且總會カ各會議ニ於テ何レノ決議ヲ討議スヘキヤヲ決定ス

三、右委員會ハ又以下本條ニ定ムル通他ノ委員會ノ構成ヲ定ム

ハ、資格審査委員會

一、總會ハ代表委員及顧問ノ委任狀ヲ審査スル爲委員會ヲ選任スヘシ該委員會ハ政府代表委員一

名、使用者代表委員一名及勞働者代表委員一名ヲ以テ之ヲ組織ス右代表委員ノ氏名ハ詮衡委員會之ヲ總會ニ提議スルモノトス

二、資格審査委員會ハ代表委員又ハ顧問ノ任命ニ關シ提出セラレタル抗議カ第三條ニ定メラルル受理ノ條件ヲ具備スルヤ否ヤヲ審査スヘシ右委員會ニシテ抗議ヲ受理スヘキヤ否ヤニ關シ全會一致ノ結論ニ到達スルトキハ其ノ決定ハ最終的ノモノトス資格審査委員會ニシテ全會一致ノ結論ニ到達セサルトキハ總會ハ更ニ討議ヲ行フコトナクシテ委員會ニ於テ行ハレタル討議ノ議事録並ニ其ノ委員ノ多數派及少數派ノ意見ヲ記載セル報告書ヲ參酌シテ抗議ヲ受理スヘキヤ否ヤヲ決定スヘシ

三、資格審査委員會ハ受理スヘキモノト決定セラレタル代表委員又ハ顧問ノ任命ニ關スル抗議カ正當ノ理由ニ基クヤ否ヤヲ審査スヘク且第三條ニ規定セラレル理事會長ノ報告中ニ又ハ受理スヘキモノト認メラレタル個々ノ抗議中ニ掲ケラルル事件ニ付總會ニ直ニ報告ヲ提出スヘシ

ニ、起草委員會

一、詮衡委員會ハ少クトモ三名ノ者ヨリ成ル起草委員會ヲ任命スヘシ右ノ者ハ代表委員又ハ顧問タルコトヲ要セス

總會ノ諸委員會ニ關スル議事規則第四條(一)ニ基キ各委員會ニ依リ任命セララルル特別起草委員會ハ條約案又ハ勸告カ關係委員會ニ依リ總會ニ提出セラレタルトキハ總會起草委員會ノ一部ヲ成スヘシ

二、總會ノ起草委員會ハ總會ノ採擇スル決議ヲ條約案又ハ勸告ノ形式ニ起草スヘシ右委員會ハ書記局ノ翻譯ニ係ル條約案又ハ勸告ノ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ノ間ニ一致ヲ保タシムヘシ

ホ、決議案委員會

一、總會ハ會議事項ノ項目ニ關スル以外ノ決議案ヲ審査セシムル爲政府代表委員、使用者代表委員及勞働者代表委員ノ同數ヨリ成ル委員會ヲ選任スヘシ

二、右委員會ハ右決議案カ其ノ提出期限及總會ノ權限ノ双方ニ關シ受理シ得ヘキモノナリヤ否ヤヲ審査スヘシ

三、右委員會ハ決議案ノ提出者ノ意見ヲ聽取シタル後之ニ提出セラレタル決議案ニ付其ノ望マシト認ムルカ如キ實質上又ハ形式上ノ修正ヲ爲スコトヲ得

四、右委員會ノ特別ノ任務ノ一ハ明確ナル法律上ノ效果ヲ伴フ總會ノ正式決定ヲ要スル決議案ト理事會、各國政府又ハ其ノ他ノ機關ニ宛テタル何等法律上ノ義務ヲ伴ハサル決議案トヲ適當ナ

ル起草ニ依リ區別スルコトタルヘシ

五、右委員會ハ總會ニ報告ヲ提出スヘシ

六、總會議事規則第十三條ニ從ヒ費用ヲ要スル決議案ハ委員會ニ依リ先ツ理事會ノ審議ニ付セラ

ヘ、其ノ他ノ諸委員會

一、本條(ハ)及(ニ)ニ列舉スル委員會以外ノモノヲ設クルノ決定アリタルトキハ詮衡委員會ハ該委員會ヲ構成スヘキ員數ヲ定メタル上問題ノ委員會ニ付當該代表團ニ配當セラレタル議席ヨリ多數ノ氏名ヲ選擇ノ順序ニ從ヒ掲クル名簿表ヲ提供スルコトヲ各代表團ニ要求スヘシ

二、詮衡委員會ハ三代表團ノ提供ニ係ル名簿ヲ審査スヘク且該委員會ノ處理スヘキ事項ニ付一層適切ナルカ又ハ各國ニ對スル議席ノ配當ニ關シ一層満足ナル代表ヲ確保スル爲委員會ノ構成ニ修正ヲ加フルヲ可ナリト認メタルトキハ右ノ修正ヲ確保スルニカムヘシ尤モ之ニ出席セル代表團ノ代表者ノ承認ヲ得ルモノトス

代表委員ニシテ其ノ所屬代表團ニ依リ一個ノ委員會ニモ指名セラレサリシトキハ右代表委員ハ其ノ旨ヲ詮衡委員會ニ通告スヘク詮衡委員會ハ當該委員會ノ委員數ヲ増加シテ右代表委員ヲシ

テ一又ハ二以上ノ委員會ニ列席セシムル權限ヲ有スヘシ

第八條 總會議場入場ノ權利

- 一、總會ノ會議ハ明ニ反對ノ決定アリタル場合ヲ除クノ外之ヲ公開ス
- 二、公開ノ會議ニ於テハ總會書記局ハ著名ナル傍聽人及新聞記者ノ爲必要ナル設備ヲ設クヘシ
- 三、代表委員及顧問ノ外左ノ者ニ限り議席ニ就クコトヲ許可ス

(イ) 總會ニ於テ討議セラルル問題ヲ管掌スル省ノ大臣ニシテ代表委員又ハ顧問ニ非サル者
各代表毎ニ一名ノ書記又ハ通譯

(ハ) 總會ノ代表委員又ハ顧問ニ非サル勞働理事會ニ於ケル代表者

(ニ) 國勞働事務局局長及總會書記局職員

(ホ) 使用者代表團及勞働者代表團ノ書記

(ヘ) 國際勞働機關ノ締盟國ノ代表團中ニ於テ缺員トナルコトアルヘキ顧問ノ地位ヲ占ムル爲該
締盟國ニ依リ任命セラルル者

第九條 議長ノ職務

- 一、議長ハ會議ノ開會及閉會ヲ宣言スヘシ議長ハ會議事項ノ議事ニ入ルニ先チ總會ニ關スル通告

ヲ之ニ提出スヘシ

二、議長ハ討論ヲ指揮シ秩序ヲ保持シ時宜ノ方法ニ依リ議事規則ノ遵守ヲ確保シ發言權ヲ許與シ
又ハ之ヲ取消シ問題ヲ表決ニ付シ且表決ノ結果ヲ宣言ス

三、議長ハ討論ニ參加シ及表決ヲ爲スコトヲ得ス議長自ラ代表委員タルトキハ第十八條ノ規定ニ
從ヒ代理者ヲ指名スルコトヲ得

四、議長或會議ニ於テ又ハ會議中司會スルヲ得サルトキハ副議長中ノ一名輪番ヲ以テ司會スルモ
ノトス

五、議長ノ職務ヲ執ル副議長ハ議長ト同一ノ職權及職務ヲ有スルモノトス

第十條 發言權

一、代表委員ハ議長ノ許可ヲ要求シ且之ヲ得ルニ非サレハ發言スルコトヲ得ス

二、發言者ハ發言ノ請求ヲ表示シタル順序ニ依リ招呼セラルヘシ

三、代表委員ハ總會ノ特別ノ許可アルニ非サレハ同一ノ動議、決議又ハ修正ニ付一回以上發言ス
ルコトヲ得ス但シ動議、決議又ハ修正ノ發議者ハ第十四條ニ從ヒ討議終結ノ動議採擇セラレタ
ルニ非サル限リ二回發言スルノ權利ヲ有ス

- 四、發言者ノ言論カ討議中ノ事項以外ニ亘ルトキハ議長ハ其ノ復席ヲ之ニ要求スルコトヲ得
- 五、代表委員ハ何時タリトモ議事ノ進行ニ關シ質問ヲ提起スルコトヲ得右質問ハ議長議事規則ニ從ヒ之ヲ即決スヘシ
- 六、發言ハ總會ノ特別ノ許可アルニ非サレハ翻譯ノ爲ニ要スル時間ヲ除キ十五分ヲ超ユルコトヲ得ス
- 七、議事妨害及他人ニ聞ユル談話ハ之ヲ許サス
- 八、總會ニ依リ討議セラルル問題ヲ管掌スル省ノ大臣ニシテ代表委員又ハ顧問ニ非サル者、總會ノ代表委員又ハ顧問ニ非サル勞働理事會員及國際勞働事務局長又ハ其ノ代表者ハ議長ノ招致アルトキハ發言スルコトヲ得

第十一條 用語

- 一、佛蘭西語及英吉利語ヲ以テ總會ノ公用語トス
- 二、佛蘭西語ヲ以テ爲シタル發言ハ其ノ要領ヲ英吉利語ニ又英吉利語ヲ以テ爲シタル發言ハ其ノ要領ヲ佛蘭西語ニ總會書記局附通譯之ヲ翻譯スヘシ
- 三、代表委員ハ非公用語ヲ以テ發言スルコトヲ得ルモ右代表ハ公用語ニ對スル總會ノ通譯カ總會

書記局ヨリ提供セラルル場合ヲ除キ其ノ隨員タル通譯ヲシテ其ノ發言ノ要領ヲ右二種ノ公用語ノ一ニ翻譯セシムルノ準備アルヲ要ス右ノ要領翻譯ハ爾後書記局附通譯之ヲ他ノ公用語ニ翻譯スヘシ

- 四、文書ノ翻譯及配布ハ書記局之ヲ掌ル西班牙語文書ノ翻譯及配布ニ關シテハ華盛頓會議ニ於テ採擇セラレタル實例ニ倣フモノトス

第十二條 動議、決議及修正

- 一、代表委員ハ左ノ規則ニ從ヒ動議、決議又ハ修正ヲ發議スルコトヲ得
- 二、會議事項中ノ項目ニ關スル決議ハ少クトモ二日以前ニ於テ其ノ寫ヲ總會書記局ニ交付スルニ非サレハ總會ノ何レノ會議ニ於テモ之ヲ發議スルコトヲ得ス前記ニ依リ交付アリタル決議ハ書記局遅クトモ之ヲ接受シタル翌日之ヲ配布スヘシ
- 三、決議ニ對スル修正ハ豫告ヲ須キスシテ之ヲ發議スルコトヲ得但シ修正本文ノ寫ハ修正發議前ニ總會書記局ニ之ヲ交付スヘシ決議ニ對スル修正發議セラレタルトキハ該修正ニ關スル議事ノ終了スル迄ハ該修正ニ對スル再修正以外ノ修正ヲ發議スルコトヲ得ス修正ハ本決議ニ先チ之ヲ表決ニ付スヘシ

- 四、代表委員ハ其ノ發議シタル修正案ニ對スル再修正案ノ討議續行中ナルカ又ハ既ニ其ノ採擇ヲ經タルニ非サル限リ之ヲ撤回スルコトヲ得
- 五、議事手續ニ關スル動議ノ場合ニ於テハ豫告ヲ與フルヲ要セス又總會書記局ニ其ノ寫ヲ交付スルヲ要セス議事手續ニ關スル動議ハ再議ヲ求ムルノ動議、當該問題ノ審議ヲ延期スルノ動議、閉會ノ動議、特定ノ問題ニ關スル討論終結ノ動議、總會ヲシテ議事日程ノ次項ノ議事ニ入ラシムルノ動議ヲ包含ス
- 六、動議、決議及修正ハ賛成者アルニ非サル限リ之ヲ討議スルコトヲ得ス
- 七、以下定ムル場合ヲ除クノ外會議事項ノ項目ニ關スル決議以外ノモノハ總會開會期日ノ少クトモ七日前ニ國際勞働事務局長ニ其ノ寫ヲ寄託スルニ非サレハ總會ノ何レノ會議ニ於テモ之ヲ議スルコトヲ得ス右寄託セラレタル決議ハ國際勞働事務局總會開會期日前ニ之ヲ代表委員ニ配布スヘク且前記第七條ホ、ニ從ヒ審査ノ爲決議案委員會ニ付託スヘシ
- 八、前記ノ規定ニ拘ラス議長ハ總會ノ他ノ役員ノ同意ヲ得タル上且之カ爲ニスル二十四時間ノ豫告ヲ與ヘタル後緊急事項又ハ全然形式的性質ヲ有スル事項ニ關スル決議ヲ總會ニ提出スルコトヲ得右ノ決議モ亦前記第七條ホ、ニ從ヒ審査ノ爲決議案委員會ニ付託スヘシ

第十三條 費用ヲ要スル提案

費用ヲ要スル動議又ハ決議ハ先ツ勞働理事會ニ之ヲ付託スヘク該理事會ハ其ノ財政委員會ト協議ノ上其ノ意見ヲ總會ニ通告スヘシ右ノ通告ハ當該動議又ハ決議ノ總會ニ依リ討議セラルル少クトモ二十四時間前ニ之ヲ代表委員ニ配布スヘシ

第十四條 討議ノ終結

- 一、代表委員ハ特定ノ決議若ハ修正又ハ一般ノ問題ニ關スル討議ノ終結ヲ發議スルコトヲ得
- 二、議長ハ少クトモ三十名ノ代表委員カ討議終結ノ動議ニ賛成シタルトキハ之ヲ表決ニ付スヘシ尤モ之ヲ表決ニ付スルニ先チ議長ハ該終結ノ動議提出前ニ發言ノ要求ヲ表示シタル代表委員ノ氏名ヲ朗讀スヘキモノトス
- 三、議長ハ當該代表團ニ依リ任命セラルル一名ノ發言者ヲシテ討議中ノ問題ニ關シ發言セシムルコトヲ右代表團議長ヲ經由シテ要求スル各代表團ニ既ニ該代表團ヲ代表スル發言者アリタルト否トヲ問ハス右ノ發言ヲ許可スヘシ
- 四、討論終結ニ反對スル發言ノ請求アルトキハ之ヲ許可スヘシ但シ一名ノ發言者ニ付五分ヲ超ユル發言ヲ許容スルコトヲ得ス

五、討論終結ノ表決アリタル後ニ於テハ何人モ當該問題ニ付發言スルコトヲ許容セラレサルヘシ
尤モ前記諸項ニ從フモノトス

第十五條 表決

- 一、總會ハ舉手又ハ氏名點呼ニ依リ表決スヘシ
- 二、本規則カ氏名點呼ヲ要求セサル一切ノ場合ニ於テハ表決ハ舉手ニ依ル
- 三、舉手ニ依ル表決ハ書記局之ヲ計算シ議長其ノ結果ヲ宣言ス
- 四、右ノ結果ニ關シ疑アル場合ニ於テハ議長ハ氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルコトヲ得
- 五、「ヴェルサイユ」條約第十三編ニ依リ三分ノ二ノ多數ノ表決ヲ必要トスル一切ノ場合ニ於テハ氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルモノトス
- 六、二十名ヲ下ラサル代表委員書面ヲ以テ氏名點呼施行ノ要求ヲ爲シタルトキハ何レノ問題ニ付テモ亦之ヲ行フコトヲ得
- 七、氏名點呼ニ依ル表決ハ國際労働機關ノ締盟國名ノ佛蘭西語「アルファベット」ノ順序ニ從ヒ表決ニ加ハル各國代表ノ各代表委員ヲ點呼スルニ依リ之ヲ行フ
- 八、氏名點呼ニ依ル表決ハ書記局之ヲ採リ議長其ノ結果ヲ宣言ス

九、氏名點呼ニ依ル表決ニ加ハリタル代表委員ノ氏名ハ當該會議ノ速記録ニ之ヲ記載スヘシ
十、本條第四項ニ定ムル場合ヲ除クノ外議長ハ氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルコトヲ得ス

第十六條 定足數

- 一、賛成及反對ノ表決ノ數カ總會ノ當該會議ノ爲正式ニ記録セラレ且表決權（第三百九十條第二項）ヲ有スル代表委員ノ半數ニ達セサルトキハ表決ハ「ヴェルサイユ」條約第四百三條ニ從ヒ之ヲ無効トス右代表委員ノ數ハ第三條第二項ノ規定スル概要報告ノ提出アリタル後之ヲ決定スヘシ代表委員ニシテ其ノ資格ヲ最終ニ否認セラレタルモノアルトキハ其ノ以後ノ會議ニ付テハ之ニ從ヒ定足數ヲ訂正スルモノトス
- 二、舉手ノ表決ニ依リ定足數ヲ得サリシ場合ニ於テハ議長ハ直ニ氏名點呼ニ依リ表決ヲ採ルコトヲ得議長ハ表決ノ必要アル際出席セル一代表團ノ十名ノ團員ヨリ氏名點呼ノ表決ノ要求アリタルトキハ右ノ要求ニ從フコトヲ要ス

第十七條 多數

氏名點呼ニ依リテ多數ヲ決定スル爲ニハ賛成及反對ノ凡テノ表決ヲ計算スヘク又總會ニ提出セラ
ルル提案ハ其ノ採擇アルカ爲ニハ場合ニ應シ表決ノ過半數又ハ三分ノ二ノ多數ヲ必要トス

第十八條 代理者

一、代表委員ハ「ヴェルサイユ」條約第三百八十九條ニ從ヒ議長宛ノ通告書ニ依リ其ノ顧問ノ一名ヲ自己ノ代理者トシテ指名スルコトヲ得右通告書ハ會議中新ナル問題ノ討議ニ付セラルルニ非サル限り之ヲ當該會議前ニ議長ニ提出スルコトヲ要ス該通告書ハ代理者カ代理ヲ爲スヘキ會議ヲ指定スルコトヲ要ス

二、代理者ハ代表委員ト同一條件ノ下ニ討論ニ參加シ且表決スルコトヲ得

第十九條 速記録

一、速記録ハ各會議ヲ終リタルトキ書記局之ヲ印刷ニ付スヘシ該速記録中ニハ當該會議ニ於ケル出席代表委員ノ氏名竝採擇セラレタル本文及表決ノ結果ヲ挿入スヘシ

二、各代表委員ハ速記録中自己ノ爲シタル發言ヲ登載シタル部分ノ訂正ヲ當該速記録ノ確定印刷ニ付セラルル前ニ要求スルノ權利ヲ有ス會議中演述ナカリシ演說又ハ其ノ一部分ハ之ヲ速記録ニ登載スルコトヲ得ス

三、申出アリタル訂正ハ會議ノ當日中ニ之ヲ書記局ニ交付スルニ非サレハ之ヲ登載セス

四、速記録ハ總會ノ議長及書記局長之ニ署名スヘシ

第二十條 國際勞働事務局ノ理事會ノ選任

一、總會ハ「ヴェルサイユ」條約第三百九十三條ニ從ヒ三年毎ニ其ノ會議中ニ於テ理事會ヲ選任スルノ手續ヲ履ムヘシ

二、右ノ目的ノ爲同條ニ定ムル主要産業國タル八締盟國ヲ除ク一切ノ締盟國ノ政府代表委員ハ會合ノ上四締盟國ヲ選定スヘク該締盟國政府ハ勞働理事會ニ於ケル代表者ヲ指名スヘシ

三、使用者代表委員及勞働者代表委員ハ各別ニ會合ノ上勞働理事會ニ於ケル其ノ六名ノ代表者ヲ各選舉スヘシ右ノ選舉ニ於テハ代表者ノ氏名ヲ指示スヘキモノトス

四、使用者又ハ勞働者ノ代表者中ニ勞働理事會ニ於ケル關員ヲ生シタル場合ニ於テ且該理事會カ「ヴェルサイユ」條約第三百九十三條ニ基ク關員補充ノ方法ヲ定メサリシ場合ニ於テハ關係代表團ニ屬スル總會ノ代表委員ハ總會ノ次回會議中ニ會合シタル上其ノ關員ヲ補充スヘシ

五、勞働理事會カ「ヴェルサイユ」條約第三百九十三條ニ從ヒ關員補充ヲ定メタルトキハ理事會ノ之ニ付採リタル決定ハ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

六、右理事會ノ決定カ總會ノ承認ヲ得サリシ場合ニ於テハ本條第二項及第三項ノ規定ニ從ヒ新ナル選舉ヲ直ニ行フヘシ

第二十一條 代表團ノ議事規則

一、代表團ハ左記事項ヲ處理スル爲公式會合ヲ開催スルモノトス

(イ) 副議長ノ指名(第四條)

(ロ) 詮衡委員會ノ委員ノ指名(第七條(ロ))

(ハ) 其ノ他ノ委員會ノ委員ノ指名(第七條(ヘ))

(ニ) 勞働理事會ノ選任(第二十條)

(ホ) 詮衡委員會又ハ總會ニ依リ代表團ニ付託セララルル事項

- 二、右公式會合中第一ノモノハ總會ノ開催後能フ限り速ニ之ヲ開催スヘシ總會書記局ノ代表者ハ手續ニ關シ代表團ニ報告スル爲當該代表者ノ希望アルトキハ右第一ノ會議ニ出席スヘク又代表團ハ右會議ニ於テ其ノ議長、副議長及書記各一名ヲ選定スヘシ議長及副議長ハ代表團ヲ構成スル代表委員及顧問ノ中ヨリ之ヲ選定スヘク書記ハ代表團以外ノ者ヨリ之ヲ選定スルコトヲ得
- 三、代表團ノ書記ハ其ノ公式會合ノ結果ヲ能フ限り速ニ報告スヘシ
- 四、代表團ハ非公式事項ノ審議又ハ其ノ處理ノ爲何時タリトモ非公式會合ヲ開催スルコトヲ得
- 五、公式會合ニ於テ表決スル者ハ代表委員ニ限ル但シ代表委員ハ自ラ出席スルコト能ハサルトキハ總會議事規則第十八條ノ規定ニ從ヒ總會議長宛ノ通告書ニ依リ其ノ顧問ノ一名ヲ自己ノ代表

者トシテ指名スルコトヲ得

六、諸委員會ノ委員ノ指名ヲ爲スニ當リ政府代表團ハ左ノ手續ニ從フヘシ

詮衡委員會カ設置スヘキ委員會ノ數ニ付決定ヲ爲スヤ否ヤ各國政府代表委員ハ當該國政府カ何レノ委員會ニ且如何ナル選擇ノ順位ニ於テ代表セララルルコトヲ希望スルヤヲ書面ヲ以テ代表團書記ニ通告スヘシ

書記ハ次テ委員會毎ニ何レノ政府カ之ニ代表セララルルコトヲ希望スルヤヲ示シ且之カ選擇ノ順位ヲ示セル名簿ヲ作成スヘシ該名簿ハ代表團委員ニ通達セララルヘシ

代表團ハ先ツ最多數ノ候補者アル委員會ノ委員ヲ指名スヘシ第一ノ委員會ノ委員ヲ指名シタル後爾余ノ委員會ニ付テハ同様ノ原則ニ從フヘシ

第二十二條 選舉ニ於ケル表決ノ手續

一、委員會、理事會又ハ總會副議長ノ任命ニ付必要ナル選舉ニ於ケル表決ノ現實ノ手續ハ總會議長又ハ其ノ指名スル者之ヲ管理ス右ノ者ハ表決權ヲ有スル代表委員ヲ適當ナル時ニ召集シ表決數ノ計算ノ正否ヲ監視シ且選舉ノ結果ヲ總會ニ通告スルモノトス

二、勞働理事會ニ於ケル代表者ノ選舉ノ爲ニスル會合ニ付テハ少クとも二十四時間ノ豫告ヲ與フヘシ

委員會議事規則

五〇

第一條 適用範圍

本議事規則ハ左ノ例外ノ下ニ總會ニ依リ設置セラルル一切ノ委員會ニ適用ス

(イ) 本規則ハ總會議事規則第七條ハ及ニ、ニ規定セラルル資格審査委員會及起草委員會ニ適用セサルヘシ

(ロ) 左記ハ總會議事規則第七條ロ、ニ規定セラルル詮衡委員會ニ適用セサルヘシ

(一) 第三條第一項ノ「且詮衡委員會トノ合意ノ上」ナル字句
(二) 第九條、第十一條及第十四條

第二條 役員

一、各委員會ノ第一次會議ハ當該目的ノ爲總會書記局長ニ依リ任命セラルル總會書記局ノ一役員ニ依リ開會セラルヘシ右役員ハ委員長カ選任セラルル迄事務ヲ處理スヘシ

二、各委員會ハ一名ノ委員長及二名ノ副委員長ヲ選任スヘシ尤モ三代表團ヨリ各一名ヲ選出スルモノトス

三、各委員會ハ次テ其ノ審議ノ結果ヲ其ノ名ニ於テ總會ニ提出スル爲其ノ委員中ヨリ一名又ハ二名以上ノ報告委員ヲ選任スヘシ報告委員ハ承認ヲ求ムル爲報告ヲ委員會ニ提出スルニ先チ委員會ノ役員ニ右ノ報告ヲ提出スヘシ

四、委員長、副委員長及報告委員ハ代表委員又ハ顧問ノ中ヨリ之ヲ任命スルコトヲ得

第三條 委員長ノ職務

一、委員長ハ會議ノ開會及閉會ヲ宣言スヘシ委員長ハ二名ノ副委員長ト協議ノ後且詮衡委員會トノ合意ノ上會議ノ日及時ヲ定ムヘシ委員長ハ會議事項ノ議事ニ入ルニ先チ委員會ニ關スル通告ヲ之ニ提出スヘシ委員長ハ討論ヲ指揮シ秩序ヲ保持シ議事規則ノ遵守ヲ確保シ本議事規則ノ規定ニ從ヒ發言權ヲ許與シ又ハ之ヲ取消シ問題ヲ表決ニ付シ且表決ノ結果ヲ宣言スヘシ

二、委員長ハ委員會ニ於テ代理者カ之ニ代ハル場合ノ外討論ニ參加シ及表決ヲ爲スノ權利ヲ有ス但シ委員長ハ裁決權ヲ有セサルヘシ

三、副委員長ハ委員長カ出席スルコトヲ得サル會議又ハ其ノ一部ヲ交替ニ司會スヘシ

第四條 起草委員會及小委員會

一、各委員會ニシテ總會議事規則第六條八ニ從ヒ總會ニ依リ討議ノ基礎トシテ條約案又ハ勸告ノ

- 草案ヲ付託セララルモノハ初メノ會議ニ於テ一名ノ政府代表委員、一名ノ使用者代表委員及一名ノ勞働者代表委員並ニ當該委員會ノ報告委員及總會ノ法律顧問ヨリ成ル特別起草委員會ヲ設置スヘシ可能ナル限リ特別起草委員會ハ二公用語ニ通曉セル委員ヲ包含スヘシ特別起草委員會ハ關係アル會議事項ノ特殊項目ニ關シ専門家トシテ各委員會ニ屬スル總會書記局ノ職員ヨリ援助ヲ受クルコトヲ得特別起草委員會ハ條約案又ハ勸告カ關係委員會ニ依リ總會ニ提出セララル場合總會ノ起草委員會ノ一部ヲ成スヘシ
- 二、各委員會ハ當該委員會ニ於ケル三代表團ニ適當ナル豫告ヲ與ヘタル後小委員會ヲ設置スル權限ヲ有スヘシ
- 三、委員會ノ委員長ハ委員會ニ依リ設置セララル特別起草委員會及小委員會ニ出席スル權利ヲ有スヘシ

第五條 代理者

各代表團ハ委員會ヲ構成スル其ノ委員カ代理者ニ依リ代ラレ得ル條件ヲ定ムヘシ

第六條 書記局

書記局長ハ各委員會ノ書記トシテ行動スル總會書記局ノ職員ヲ任命スヘシ右職員ハ委員會又ハ委

員長ニ依リ決定セララルヘキ附加的職務ヲ執ルコトヲ要求セララルヘシ

第七條 用語

- 一、佛蘭西語及英吉利語ヲ以テ委員會ノ公用語トス
- 二、佛蘭西語ヲ以テ爲シタル發言ハ其ノ要領ヲ英吉利語ニ又英吉利語ヲ以テ爲シタル發言ハ其ノ要領ヲ佛蘭西語ニ總會書記局附通譯之ヲ翻譯スヘシ
- 三、代表委員ハ非公用語ヲ以テ發言スルコトヲ得ルモ右代表ハ公用語ニ對スル總會ノ通譯カ總會書記局ヨリ提供セララル場合ヲ除キ其ノ隨員タル通譯ヲシテ其ノ發言ノ要領ヲ右二種ノ公用語ノ一ニ翻譯セシムルノ準備アルヲ要ス右ノ要領翻譯ハ爾後書記局附通譯之ヲ他ノ公用語ニ翻譯スヘシ
- 四、一委員會ノ委員ニシテ正委員又ハ代理者トシテ委員會ノ事業ニ實際ニ參加スル者ノ少クトモ五分ノ一カ各別ニ且書面ヲ以テ公用語ノ何レヲ以テシテモ委員會ノ議事ニ參加スルコト困難ナリト聲明シ其ノ通曉セル他ノ國語ヘノ附加的通譯ヲ要求スル場合ニ於テハ當該委員會ハ總會書記局カ必要ナル通譯ヲ提供シ得ル場合ニ限リ右ノ要求ニ應スヘシ
- 五、一委員會ノ委員ニシテ前項ニ定ムル條件ニ於テ非公用語ヘノ附加的通譯ヲ要求スル者ノ數カ

委員數ノ五分ノ一以下ナル場合ニ於テハ當該委員會ハ例外的措置トシテ且總會ノ書記局カ必要ナル通譯ヲ提供シ得ル場合ニ限リ右ノ要求ニ應スヘキヤ否ヤヲ決定スヘシ

第八條 發言權

- 一、何人ト雖モ委員長ノ許可ヲ要求シ且之ヲ得ルニ非サレハ發言權ヲ有セサルヘク委員長ハ發言者カ其ノ發言ノ請求ヲ表示シタル順序ニ依リ之ヲ招呼スヘシ
- 二、發言者ノ言論カ討論中ノ事項以外ニ亘ルトキハ委員長ハ其ノ發言權ヲ取消スコトヲ得
- 三、總會書記局長又ハ其ノ代理者ハ委員長ノ許可ヲ得テ委員會、小委員會又ハ特別起草委員會ニ於テ發言スルコトヲ得
- 四、發言ハ委員會ノ特別ノ許可アルニ非サレハ翻譯ノ爲ニ要スル時間ヲ除キ十分ヲ超ユルコトヲ得ス

第九條 決議、修正及動議

- 一、委員會ノ委員ハ左ノ規則ニ從ヒ決議、修正又ハ動議ヲ提出スルコトヲ得
- 二、一切ノ決議案及修正案ハ之ヲ公用語ノ一ヲ以テスル文書ニ依リ提出シ且左ノ時間制限内ニ委員會書記局ニ通告スルコトヲ要ス決議案若ハ修正案ヲ翌朝ニ開カルヘキ會議ニ於テ討議スルコトヲ得シムル爲午後五時迄又ハ決議案若ハ修正案ヲ同日ノ午後ニ開カルヘキ會議ニ於テ討議スルコトヲ得シムル爲午前十一時迄

- 三、決議案及修正案ノ本文ハ之ヲ他ノ公用語ニ翻譯シ且會議ニ出席セル委員會ノ一切ノ委員ニ討議前配布スヘシ

- 四、前掲ノ條件ニ依リ既ニ提出セラレタル修正案ニ對スル修正案ノミ當該會議ニ於ケル討議ノ爲委員會ノ會議中ニ之ヲ提出スルコトヲ得右ノ修正案ハ公用語ノ一ヲ以テ文書ニ依リ之ヲ提出スヘシ

- 五、一動議又ハ決議案ニ對シ數個ノ修正案アルトキハ委員長ハ左ノ規定ニ從ヒ之ヲ討議シ且表決ニ付スヘキ順序ヲ決定スヘシ

- (イ) 一切ノ動議、決議案及修正案ハ之ヲ表決ニ付スヘシ
- (ロ) 修正案ハ委員長カ決定スル處ニ從ヒ各別ニ又ハ他ノ修正案ニ對シテ之ヲ表決スルコトヲ得但シ一動議又ハ決議案夫レ自體カ修正セラレタルモノト看做サルルニ先チ右動議又ハ決議案ハ之ヲ修正スル修正案ニ對シテ直接ニ之ヲ表決ニ付スヘシ
- (ハ) 一動議又ハ決議案カ表決ノ結果トシテ修正セラレタルトキハ修正セラレタル動議又ハ決議

案ハ最終表決ノ爲之ヲ會議ニ提出スヘシ

- 六、修正案ノ提出者ハ其ノ提出シタル修正案ニ對スル再修正案ノ討議中ナルカ又ハ既ニ其ノ採擇ヲ經タルニ非サル限り之ヲ撤回スルコトヲ得右ノ如ク撤回セラレタル修正案ハ委員會ノ討議ニ參加スル權限アル他ノ者ニ於テ豫告ナクシテ之ヲ提出スルコトヲ得
- 七、決議案、修正案又ハ動議ハ賛成者アルニ非サレハ之ヲ討議スルコトヲ得ス
- 八、次ノ如キ動議ニ付テハ委員會書記局ニ豫告ヲ與フルヲ要セス又其ノ寫ヲ交付スルヲ要セス再議ヲ求ムノ動議、當該問題ノ審議ヲ延期スルノ動議、閉會ノ動議、特定ノ問題ニ關スル討論終結ノ動議、委員會ヲシテ議事日程ノ次項ノ議事ニ入ラシムルノ動議、委員長、書記局又ハ總會ノ法律顧問ノ意見ヲ求ムルノ動議
- 九、委員ハ何時タリトモ議事規則カ遵守セラレ居ラサルコトノ事實ニ注意ヲ喚起スルコトヲ得ヘク且委員長ハ右ノ如ク提起セラレタル問題ニ付直ニ決定ヲ與フヘシ

第十條 討議ノ終結

- 一、委員會ノ委員ハ特定ノ修正案又ハ一般ノ問題ニ關スル討議ノ終結ヲ發議スルコトヲ得
- 二、委員長ハ會議ニ出席セル委員會委員ノ少クトモ五分ノ一カ賛成シタルトキハ討議終決ノ動議

ヲ表決ニ付スヘシ尤モ之ヲ表決ニ付スルニ先チ委員長ハ既ニ發言ノ希望ヲ表示シタル者ノ氏名ヲ朗讀スヘク且右ノ者ハ討論終結ノ動議カ表決セラレタル後尙發言權ヲ有スヘシ

三、討論終結ニ反對スル發言ノ請求アルトキハ各代表團毎ニ一名ノ發言者ニ之ヲ許可スヘシ討論終結ノ表決アリタルトキト雖モ前項ニ定ムル條件ニ依リ未タ發言ノ希望ヲ表示セサリシ各代表團ノ一名ノ委員ハ討議中ノ問題ニ付發言スルコトヲ得

第十一條 委員會ノ事業ニ參加スルノ權利

委員會委員ノ外ニ代表委員又ハ顧問ニシテ其ノ屬スル代表委員ヨリ當該目的ノ爲文書ニ依リ權限ヲ委任セラレタル者ハ會議ニ出席スルノ權利及委員會委員ノ一切ノ權利ヲ有スヘシ但シ表決權ハ之ヲ除ク

第十二條 表決

- 一、決定ハ會議ニ出席セル委員會委員ノ單純ナル多數表決ニ依ル
- 二、委員會ハ舉手又ハ氏名點呼ニ依リ表決スヘシ
- 三、舉手ニ依ル表決ノ結果ニ付爭アルトキハ委員長ハ氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルヘシ
- 四、會議ニ出席セル委員ノ五分ノ一以上ノ要求アルトキハ又氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルヘシ

五、表決ハ書記局之ヲ記録シ且委員長之ヲ宣言スヘシ
六、如何ナル決議案、修正案又ハ動議モ表決カ賛否同數ナルトキハ之ヲ採擇スルコトヲ得ス

第十三條 定足數

一、賛成及反對ノ表決ノ數カ委員會ノ總委員數ノ五分ノ二ニ達セサルトキハ表決ハ之ヲ無効トス
二、舉手ニ依ル表決ヲ以テ定足數カ得ラレザリシ場合ニハ委員長ハ直ニ氏名點呼ニ依リ表決ヲ採
ルコトヲ得委員長ハ會議ニ出席セル委員會委員ノ五分ノ一以上カ氏名點呼ニ依ル表決ヲ要求ス
ル場合ニハ之ニ從フコトヲ要ス

第十四條 議事録

一、速記録ハ之ヲ作成セス但シ委員會ノ各會議後能フ限り書記局ハ議事録ヲ作成シ之ヲ委員ニ配
布スヘシ右議事録ノ主タル目的ハ委員會ノ決定ヲ記録スルニアルヲ以テ右議事録ハ單ニ議事ノ
概要記録タルヘシ
二、議事録ノ訂正ハ二十四時間以内ニ委員會ノ書記局ニ通告スヘク書記局ハ之ヲ能フ限り速ニ委
員會委員ニ配布スヘシ右ノ訂正ヲ挿入セル議事録ノ寫ハ之ヲ國際労働事務局ノ文庫ニ保存スヘ
シ

國際労働機關ノ締盟國

| | | | |
|------------|--------------|-------------|----------|
| 「アルバニア」 | 「アルゼンティン」 | 濠 太 利 | 澳 地 利 |
| 白 耳 義 | 「ボリヴィア」 | 「ブラジル」 | 英 吉 利 |
| 「ブルガリア」 | 「カナダ」 | 「チリ」 | 支 那 |
| 「コロンビア」 | 「キューバ」 | 「チェコスロヴァキア」 | 丁 抹 |
| 「エストニア」 | 「エチオピア」 | 「フィンランド」 | 佛 蘭 西 |
| 獨 逸 | 希 臘 | 「グアテマラ」 | 「ハイチ」 |
| 「ホンデュラス」 | 「ハンガリー」 | 印 度 | 「イラク」 |
| 「アイerland」 | 伊 太 利 | 日 本 | 「ラトヴィア」 |
| 「リベリア」 | 「リビア」 | 「ルクセンブルグ」 | 「メキシコ」 |
| 和 蘭 | 「ニュー、ジールランド」 | 「ニカラグア」 | 諾 威 |
| 「バナマ」 | 「バラグアイ」 | 「ベルシア」 | 「ペルー」 |
| 「ポーランド」 | 「ポルトガル」 | 「ルーマニア」 | 「サルヴァドル」 |

「ドミニカ」
 暹羅
 南阿聯邦
 西班牙
 「ウルグアイ」

瑞典
 瑞西
 土耳其

「ヴェネズエラ」
 「ユーゴスラヴィア」

(以上五十八國)

勞働理事會ノ構成

現在ノ勞働理事會ノ構成左ノ如シ

(イ) 政府側代表

| | |
|--------|-------------|
| 加 奈 陀 | 白 耳 義 |
| 佛 蘭 西 | 獨 逸 |
| 英 吉 利 | 印 度 |
| 伊 太 利 | 本(以上主要産業八國) |
| 「ブラジル」 | 日 本 |
| 西 班 牙 | 波 蘭 |
| | 丁 抹 |

(ロ) 使用者側代表

「フォーブス、ワトソン」(英吉利)
 「エルルカー」(印度)
 「ランベール・リボー」(佛蘭西)
 「エールステッド」(丁抹)
 「オリヴェッチ」(伊太利)
 「フォーゲル」(獨逸)

副 會 員

- 「コルト、ヴァン、デル、リンデン」〔和蘭〕
- 「ルコック」〔白耳義〕
- 「ヴァネク」〔チェッコスロヴァキア〕
- 「ゲムミル」〔南阿〕
- 「チュールチン」〔ユーゴースラヴィア〕
- 「ツァウト」〔瑞西〕
- 宮島綱男〔日本〕

(ハ) 労働者側代表

- 「ヘイデー」〔英吉利〕
- 「ジューオー」〔佛蘭西〕
- 「シュルヒ」〔瑞西〕
- 「ヨハンソン」〔瑞典〕
- 「メルテンス」〔白耳義〕
- 「ロイシュネル」〔獨逸〕

副 會 員

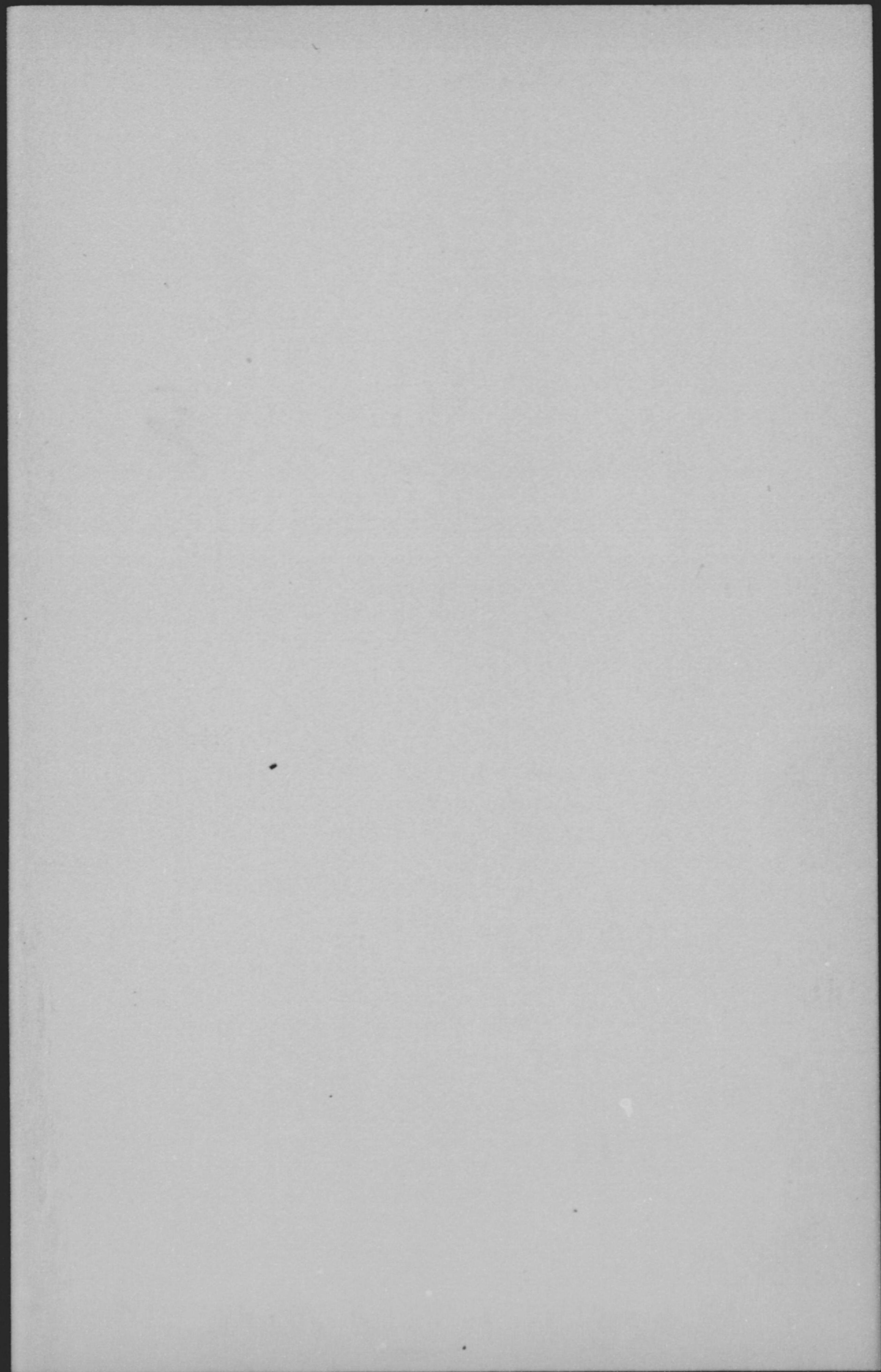
- 「カルリヨ」〔西班牙〕
- 「シヨルシュ」〔奥地利〕
- 鈴木文治〔日本〕
- 「シュヴネル」〔白耳義〕
- 「クレキツチ」〔ユーゴースラヴィア〕
- 「ツラウスキー」〔波蘭〕

労働理事会長 丁抹政府側代表

「プラムスネス」

労働事務局長

「エチ、ビー、パトラー」



INTERNATIONAL LABOUR ORGANISATION

CONSTITUTION
AND
RULES

BUREAU OF SOCIAL AFFAIRS

1934

CONTENTS

| | <i>Page</i> |
|--|-------------|
| Part XIII (Labour) of the Treaty of Versailles | 1 |
| Standing Orders of the Conference | 26 |
| Standing Orders for Committees of the Conference... .. | 51 |
| Members of the International Labour Organisation... .. | 61 |
| Governing Body of the International Labour Office | 63 |

CONTENTS

**PART XIII (LABOUR) OF THE TREATY OF
VERSAILLES OF 28 JUNE 1919.⁽¹⁾**

SECTION I.

ORGANISATION OF LABOUR.

Whereas the League of Nations has for its object the establishment of universal peace, and such a peace can be established only if it is based upon social justice ;

And whereas conditions of labour exist involving such injustice, hardship and privation to large numbers of people as to produce unrest so great that the peace and harmony of the world are imperilled ; and an improvement of those conditions is urgently required : as, for example, by the regulation of the hours of work, including the establishment of a maximum working day and week, the regulation of the labour supply, the prevention of unemployment, the provision of an adequate living wage, the protection of the worker against sickness, disease and injury arising out of his employment, the protection of children, young persons and women, provision for old age and injury, protection of the interests of workers when

(1) The provisions of Part XIII of the Treaty of Versailles are reproduced in full in Part XIII of the Treaty of Saint-Germain of 10 September 1919 (Articles 332-372), Part XIII of the Treaty of Trianon of 4 June 1920 (Articles 315-355) and Part XII of the Treaty of Neuilly of 27 November 1919 (Articles 249-289).

employed in countries other than their own, recognition of the principle of freedom of association, the organisation of vocational and technical education and other measures;

Whereas also the failure of any nation to adopt humane conditions of labour is an obstacle in the way of other nations which desire to improve the conditions in their own countries;

The High Contracting Parties, moved by sentiments of justice and humanity as well as by the desire to secure the permanent peace of the world, agree to the following:

CHAPTER I.

ORGANISATION.

Article 387.

A permanent organisation is hereby established for the promotion of the objects set forth in the Preamble.

The original Members of the League of Nations shall be the original Members of this organisation, and hereafter membership of the League of Nations shall carry with it membership of the said organisation.

Article 388.

The permanent organisation shall consist of:

- (1) a General Conference of Representatives of the Members and,
- (2) an International Labour Office controlled by the Governing Body described in Article 393.

Article 389.

The meetings of the General Conference of Representatives of the Members shall be held from time to time as occasion may require, and at least once in every year. It shall be composed of four Representatives of each of the Members, of whom two shall be Government Delegates and the two others shall be Delegates representing respectively the employers and the workpeople of each of the Members.

Each Delegate may be accompanied by advisers, who shall not exceed two in number for each item on the agenda of the meeting. When questions specially affecting women are to be considered by the Conference, one at least of the advisers should be a woman.

The Members undertake to nominate non-Government Delegates and advisers chosen in agreement with the industrial organisations, if such organisations exist, which are most representative of employers or workpeople, as the case may be, in their respective countries.

Advisers shall not speak except on a request made by the Delegate whom they accompany and by the special authorisation of the President of the Conference, and may not vote.

A Delegate may by notice in writing addressed to the President appoint one of his advisers to act as his deputy, and the adviser, while so acting, shall be allowed to speak and vote.

The names of the Delegates and their advisers will be communicated to the International Labour Office by the Government of each of the Members.

The credentials of Delegates and their advisers shall be

subject to scrutiny by the Conference, which may, by two-thirds of the votes cast by the Delegates present, refuse to admit any Delegate or adviser whom it deems not to have been nominated in accordance with this Article.

Article 390.

Every Delegate shall be entitled to vote individually on all matters which are taken into consideration by the Conference.

If one of the Members fails to nominate one of the non-Government Delegates whom it is entitled to nominate, the other non-Government Delegate shall be allowed to sit and speak at the Conference, but not to vote.

If in accordance with Article 389 the Conference refuses admission to a Delegate of one of the Members, the provisions of the present Article shall apply as if that Delegate had not been nominated.

Article 391.

The meetings of the Conference shall be held at the seat of the League of Nations, or at such other place as may be decided by the Conference at a previous meeting by two-thirds of the votes cast by the Delegates present.

Article 392.

The International Labour Office shall be established at the seat of the League of Nations as part of the organisation of the League.

Article 393.⁽¹⁾

The International Labour Office shall be under the control of a Governing Body consisting of twenty-four persons, appointed in accordance with the following provisions;

The Governing Body of the International Labour Office shall be constituted as follows:

Twelve persons representing the Governments;

Six persons elected by the Delegates to the Conference representing the employers;

Six persons elected by the Delegates to the Conference representing the workers.

Of the twelve persons representing the Governments eight shall be nominated by the Members which are of the chief industrial importance, and four shall be nominated by the Members selected for the purpose by the Government Delegates to the Conference, excluding the Delegates of the eight Members mentioned above.

(1) At its Nineteenth Sitting held on 2 November 1922 the Fourth Session of the International Labour Conference adopted by 82 votes to 2, with 6 abstentions, the following draft amendment to Article 393, which is at present before the States Members of the International Labour Organisation, in accordance with the provisions of Article 422 of the Treaty of Versailles.

"The International Labour Office shall be under the control of a Governing Body consisting of thirty-two persons:

*Sixteen representing Governments,
Eight representing the Employers, and
Eight representing the Workers.*

Of the sixteen persons representing Governments, eight shall be appointed by the Members of chief industrial importance, and eight shall be appointed by the Members selected for that purpose by the Government Delegates of the Conference excluding the Delegates of the eight Members mentioned above. Of the sixteen Members represented six shall be non-European States.

Any question as to which are the Members of the chief industrial importance shall be decided by the Council of the League of Nations.

The period of office of the members of the Governing Body will be three years. The method of filling vacancies and other similar questions may be determined by the Governing Body subject to the approval of the Conference.

The Governing Body shall, from time to time, elect one of its members to act as its Chairman, shall regulate its own procedure and shall fix its own times of meeting. A special meeting shall be held if a written request to that effect is made by at least ten members of the Governing Body.

Article 394.

There shall be a Director of the International Labour Office, who shall be appointed by the Governing Body, and subject to the instructions of the Governing Body, shall be responsible

Any question as to which are the Members of chief industrial importance shall be decided by the Council of the League of Nations.

The persons representing the Employers and the persons representing the Workers shall be elected respectively by the Employers' Delegates and the Workers' Delegates to the Conference. Two Employers' representatives and two Workers' representatives shall belong to non-European States.

The period of office of the Governing Body shall be three years.

The method of filling vacancies and of appointing substitutes and other similar questions may be decided by the Governing Body subject to the approval of the Conference.

The Governing Body shall, from time to time, elect one of its number to act as its Chairman, shall regulate its own procedure, and shall fix its own times of meeting. A special meeting shall be held if a written request to that effect is made by at least twelve of the representatives on the Governing Body."

for the efficient conduct of the International Labour Office and for such other duties as may be assigned to him.

The Director or his deputy shall attend all meetings of the Governing Body.

Article 395.

The staff of the International Labour Office shall be appointed by the Director, who shall, so far as is possible with due regard to the efficiency of the work of the Office, select persons of different nationalities. A certain number of these persons shall be women.

Article 396.

The functions of the International Labour Office shall include the collection and distribution of information on all subjects relating to the international adjustment of conditions of industrial life and labour, and particularly the examination of subjects which it is proposed to bring before the Conference with a view to the conclusion of international conventions, and the conduct of such special investigations as may be ordered by the Conference.

It will prepare the agenda for the meetings of the Conference.

It will carry out the duties required of it by the provisions of this Part of the present Treaty in connection with international disputes.

It will edit and publish in French and English, and in such other languages as the Governing Body may think desirable,

a periodical paper dealing with problems of industry and employment of international interest.

Generally, in addition to the functions set out in this Article, it shall have such other powers and duties as may be assigned to it by the Conference.

Article 397.

The Government Departments of any of the Members which deal with questions of industry and employment may communicate directly with the Director through the Representative of their Government on the Governing Body of the International Labour Office, or failing any such Representative, through such other qualified official as the Government may nominate for the purpose.

Article 398.

The International Labour Office shall be entitled to the assistance of the Secretary-General of the League of Nations in any matter in which it can be given.

Article 399.

Each of the Members will pay the travelling and subsistence expenses of its Delegates and their adviser and of its Representatives attending the meetings of the Conference or Governing Body, as the case may be.

All the other expenses of the International Labour Office

and of the meetings of the Conference or Governing Body shall be paid to the Director by the Secretary-General of the League of Nations out of the general funds of the League.

The Director shall be responsible to the Secretary-General of the League for the proper expenditure of all moneys paid to him in pursuance of this Article.

CHAPTER II.

PROCEDURE.

Article 400.

The agenda for all meetings of the Conference will be settled by the Governing Body, who shall consider any suggestion as to the agenda that may be made by the Government of any of the Members or by any representative organisation recognised for the purpose of Article 389.

Article 401.

The Director shall act as the Secretary of the Conference, and shall transmit the agenda so as to reach the Members four months before the meeting of the Conference, and, through them, the non-Government Delegates when appointed.

Article 402.

Any of the Governments of the Members may formally object to the inclusion of any items in the agenda. The grounds for such objection shall be set forth in a reasoned statement addressed to the Director, who shall circulate it to all the Members of the Permanent Organisation.

Items to which such objection has been made shall not, however, be excluded from the agenda, if at the Conference a majority of two-thirds of the votes cast by the Delegates present is in favour of considering them.

If the Conference decides (otherwise than under the preceding paragraph) by two-thirds of the votes cast by the Delegates present that any subject shall be considered by the Conference, that subject shall be included in the agenda for the following meeting.

Article 403.

The Conference shall regulate its own procedure, shall elect its own President, and may appoint committees to consider and report on any matter.

Except as otherwise expressly provided in this Part of the present Treaty, all matters shall be decided by a simple majority of the votes cast by the Delegates present.

The voting is void unless the total number of votes cast is equal to half the number of the Delegates attending the Conference.

Article 404.

The Conference may add to any committees which it appoints technical experts, who shall be assessors without power to vote.

Article 405.

When the Conference has decided on the adoption of proposals with regard to an item in the agenda, it will rest with the Conference to determine whether these proposals should take the form: (a) of a recommendation to be submitted to the Members for consideration with a view to effect being given to it by national legislation or otherwise, or (b) of a draft international convention for ratification by the Members.

In either case a majority of two thirds of the votes cast by the Delegates present shall be necessary on the final vote for the adoption of the recommendation or draft convention, as the case may be, by the Conference.

In framing any recommendation or draft convention of general application the Conference shall have due regard to those countries in which climatic conditions, the imperfect development of industrial organisation, or other special circumstances make the industrial conditions substantially different and shall suggest the modifications, if any, which it considers may be required to meet the case of such countries.

A copy of the recommendation or draft convention shall be authenticated by the signature of the President of the Conference and of the Director and shall be deposited with the Secretary-General of the League of Nations. The Secretary-

General will communicate a certified copy of the recommendation or draft convention to each of the Members.

Each of the Members undertakes that it will, within the period of one year at most from the closing of the session of the Conference, or if it is impossible owing to exceptional circumstances to do so within the period of one year, then at the earliest practicable moment and in no case later than eighteen months from the closing of the session of the Conference, bring the recommendation or draft convention before the authority or authorities within whose competence the matter lies, for the enactment of legislation or other action.

In the case of a recommendation, the Members will inform the Secretary-General of the action taken.

In the case of a draft convention, the Member will, if it obtains the consent of the authority or authorities within whose competence the matter lies, communicate the formal ratification of the convention to the Secretary-General and will take such action as may be necessary to make effective the provisions of such convention.

If on a recommendation no legislative or other action is taken to make a recommendation effective, or if the draft convention fails to obtain the consent of the authority or authorities within whose competence the matter lies, no further obligation shall rest upon the Member.

In the case of a federal State, the power of which to enter into conventions on labour matters is subject to limitations, it shall be in the discretion of that Government to treat a draft convention to which such limitations apply as a recommendation

only, and the provisions of this Article with respect to recommendations shall apply in such case.

The above Article shall be interpreted in accordance with the following principle:

In no case shall any Member be asked or required, as a result of the adoption of any recommendation or draft convention by the Conference, to lessen the protection afforded by its existing legislation to the workers concerned.

Article 406.

Any convention so ratified shall be registered by the Secretary-General of the League of Nations, but shall only be binding upon the Members which ratify it.

Article 407.

If any convention coming before the Conference for final consideration fails to secure the support of two-thirds of the votes cast by the Delegates present, it shall nevertheless be within the right of any of the Members of the permanent Organisation to agree to such convention among themselves.

Any convention so agreed to shall be communicated by the Governments concerned to the Secretary-General of the League of Nations, who shall register it.

Article 408.

Each of the Members agrees to make an annual report to the International Labour Office on the measures which it has

taken to give effect to the provisions of conventions to which it is a party. These reports shall be made in such form and shall contain such particulars as the Governing Body may request. The Director shall lay a summary of these reports before the next meeting of the Conference.

Article 409.

In the event of any representation being made to the International Labour Office by an industrial association of employers or of workers that any of the Members has failed to secure in any respect the effective observance within its jurisdiction of any convention to which it is a party, the Governing Body may communicate this representation to the Government against which it is made, and may invite that Government to make such statement on the subject as it may think fit.

Article 410.

If no statement is received within a reasonable time from the Government in question, or if the statement when received is not deemed to be satisfactory by the Governing Body, the latter shall have the right to publish the representation and the statement, if any, made in reply to it.

Article 411.

Any of the Member shall have the right to file a complaint with the International Labour Office if it is not satisfied that

any other Member is securing the effective observance of any convention which both have ratified in accordance with the foregoing Articles.

The Governing Body may, if it thinks fit, before referring such a complaint to a Commission of Enquiry, as hereinafter provided for, communicate with the Government in question in the manner described in Article 409.

If the Governing Body does not think it necessary to communicate the complaint to the Government in question, or if, when they have made such communication, no statement in reply has been received within a reasonable time which the Governing Body considers to be satisfactory, the Governing Body may apply for the appointment of a Commission of Enquiry to consider the complaint and to report thereon.

The Governing Body may adopt the same procedure either of its own motion or on receipt of a complaint from a Delegate to the Conference.

When any matter arising out of Article 410 or 411 is being considered by the Governing Body, the Government in question shall, if not already represented thereon, be entitled to send a representative to take part in the proceedings of the Governing Body while the matter is under consideration. Adequate notice of the date on which the matter will be considered shall be given to the Government in question.

Article 412.

The Commission of Enquiry shall be constituted in accordance with the following provisions:

Each of the Members agrees to nominate within six months of the date on which the present Treaty comes into force three persons of industrial experience, of whom one shall be a representative of employers, one a representative of workers, and one a person of independent standing, who shall together form a panel from which the members of the Commission of Enquiry shall be drawn.

The qualifications of the persons so nominated shall be subject to scrutiny by the Governing Body, which may by two-thirds of the votes cast by the representatives present refuse to accept the nomination of any person whose qualifications do not in its opinion comply with the requirements of the present Article.

Upon the application of the Governing Body, the Secretary-General of the League of Nations shall nominate three persons, one from each section of this panel, to constitute the Commission of Enquiry, and shall designate one of them as the President of the Commission. None of these three persons shall be a person nominated to the panel by any Member directly concerned in the complaint.

Article 413.

The Members agree that, in the event of the reference of a complaint to a Commission of Enquiry under Article 411, they will each, whether directly concerned in the complaint or not, place at the disposal of the Commission all the information in their possession which bears upon the subject-matter of the complaint.

Article 414.

When the Commission of Enquiry has fully considered the complaint, it shall prepare a report embodying its findings on all questions of fact relevant to determining the issue between the parties and containing such recommendations as it may think proper as to the steps which should be taken to meet the complaint and the time within which they should be taken.

It shall also indicate in this report the measures, if any, of an economic character against a defaulting Government which it considers to be appropriate, and which it considers other Governments would be justified in adopting.

Article 415.

The Secretary-General of the League of Nations shall communicate the report of the Commission of Enquiry to each of the Governments concerned in the complaint, and shall cause it to be published.

Each of these Governments shall within one month inform the Secretary-General of the League of Nations whether or not it accepts the recommendations contained in the report of the Commission; and if not, whether it proposes to refer the complaint to the Permanent Court of International Justice of the League of Nations.

Article 416.

In the event of any Member failing to take the action required by Article 405, with regard to a recommendation or draft

convention, any other Member shall be entitled to refer the matter to the Permanent Court of International Justice.

Article 417.

The decision of the Permanent Court of International Justice in regard to a complaint or matter which has been referred to it in pursuance of Article 415 or Article 416 shall be final.

Article 418.

The Permanent Court of International Justice may affirm, vary or reverse any of the findings or recommendations of the Commission of Enquiry, if any, and shall in its decision indicate the measures, if any, of an economic character which it considers to be appropriate and which other Governments would be justified in adopting against a defaulting Government.

Article 419.

In the event of any Member failing to carry out within the time specified the recommendations, if any, contained in the report of the Commission of Enquiry, or in the decision of the Permanent Court of International Justice, as the case may be, any other Member may take against that Member the measures of an economic character indicated in the report of the Commission or in the decision of the Court as appropriate to the case.

Article 420.

The defaulting Government may at any time inform the Governing Body that it has taken the steps necessary to comply with the recommendations of the Commission of Enquiry or with those in the decision of the Permanent Court of International Justice, as the case may be, and may request it to apply to the Secretary-General of the League to constitute a Commission of Enquiry to verify its contention. In this case the provisions of Articles 412, 413, 414, 415, 417, and 418 shall apply and if the report of the Commission of Enquiry or the decision of the Permanent Court of International Justice is in favour of the defaulting Government, the other Governments shall forthwith discontinue the measures of an economic character that they have taken against the defaulting Government.

CHAPTER III.

GENERAL.

Article 421.

The Members engage to apply conventions which they have ratified in accordance with the provisions of this Part of the present Treaty to their colonies, protectorates and possessions which are not fully self-governing:

- (1) Except where owing to the local conditions the convention is inapplicable, or

(2) Subject to such modifications as may be necessary to adapt the convention to local conditions.

And each of the Members shall notify to the International Labour Office the action taken in respect of each of its colonies, protectorates and possessions which are not fully self-governing.

Article 422.

Amendments to this part of the present Treaty which are adopted by the Conference by a majority of two-thirds of the votes cast by the Delegates present shall take effect when ratified by the States whose representatives compose the Council of the League of Nations and by three-fourths of the Members.

Article 423.

Any question or dispute relating to the interpretation of this Part of the present Treaty or of any subsequent convention concluded by the Members in pursuance of the provisions of this Part of the present Treaty shall be referred for decision to the Permanent Court of International Justice.

CHAPTER IV.

TRANSITORY PROVISIONS.

Article 424.

The first meeting of the Conference shall take place in October, 1919. The place and agenda for this meeting shall

be as specified in the Annex hereto.

Arrangements for the convening and the organisation of the first meeting of the Conference will be made by the Government designated for the purpose in the said Annex. That Government shall be assisted in the preparation of the documents for submission to the Conference by an International Committee constituted as provided in the said Annex.

The expenses of the first meeting and of all subsequent meetings held before the League of Nations has been able to establish a general fund, other than the expenses of Delegates and their advisers, will be borne by the Members in accordance with the apportionment of the expenses of the International Bureau of the Universal Postal Union.

Article 425.

Until the League of Nations has been constituted all communications which under the provisions of the foregoing Article should be addressed to the Secretary-General of the League will be preserved by the Director of the International Labour Office, who will transmit them to the Secretary-General of the League.

Article 426.

Pending the creation of a Permanent Court of International Justice, disputes which in accordance with this Part of the present Treaty would be submitted to it for decision will be referred to a tribunal of three persons appointed by the Council of the League of Nations.

ANNEX.

FIRST MEETING OF ANNUAL LABOUR CONFERENCE, 1919.

The place of meeting will be Washington.

The Government of the United States of America is requested to convene the Conference.

The International Organizing Committee will consist of seven members, appointed by the United States of America, Great Britain, France, Italy, Japan, Belgium and Switzerland. The Committee may, if it thinks necessary, invite other Members to appoint representatives.

Agenda :

- (1) Application of principle of the 8-hours day or of the 48-hours week.
- (2) Question of preventing or providing against unemployment.
- (3) Women's employment :
 - (a) Before and after child-birth, including the question of maternity benefit ;
 - (b) During the night ;
 - (c) In unhealthy processes.
- (4) Employment of children :
 - (a) Minimum age of employment ;
 - (b) During the night ;

(c) In unhealthy processes.

- (5) Extention and application of the International Conventions adopted at Berne in 1906 on the prohibition of night work for women employed in industry and the prohibition of the use of white phosphorus in the manufacture of matches.

SECTION II.

GENERAL PRINCIPLES.

Article 427.

The High Contracting Parties, recognising that the well-being, physical, moral and intellectual, of industrial wage-earners is of supreme international importance, have framed, in order to further this great end, the permanent machinery provided for in Section I, and associated with that of the League of Nations.

They recognise that differences of climate, habits and customs, of economic opportunity and industrial tradition, make strict uniformity in the conditions of labour difficult of immediate attainment. But, holding as they do that labour should not be regarded merely as an article of commerce, they think that there are methods and principles for regulating labour conditions which all industrial communities should endeavour to apply, so far as their special circumstances will permit.

Among these methods and principles, the following seem to

the High Contracting Parties to be of special and urgent importance :

First.—The guiding principle above enunciated that labour should not be regarded merely as a commodity or article of commerce.

Second.—The right of association for all lawful purposes by the employed as well as by the employers.

Third.—The payment to the employed of a wage adequate to maintain a reasonable standard of life as this is understood in their time and country.

Fourth.—The adoption of an eight hours day or a forty-eight hours week as the standard to be aimed at where it has not already been attained.

Fifth.—The adoption of a weekly rest of at least twenty-four hours, which should include Sunday wherever practicable.

Sixth.—The abolition of child labour and the imposition of such limitations on the labour of young persons as shall permit the continuation of their education and assure their proper physical development.

Seventh.—The principle that men and women should receive equal remuneration for work of equal value.

Eighth.—The standard set by law in each country with respect to the conditions of labour should have due regard to the equitable economic treatment of all workers lawfully resident therein.

Ninth.—Each State should make provision for a system of inspection in which women should take part, in order to ensure the enforcement of the laws and regulations for the protection of the employed.

Without claiming that these methods and principles are either complete or final, the High Contracting Parties are of opinion that they are well fitted to guide the policy of the League of Nations ; and that, if adopted by the industrial communities who are Members of the League, and safeguarded in practice by an adequate system of such inspection, they will confer lasting benefits upon the wage-earners of the world.

STANDING ORDERS OF THE CONFERENCE.

Article 1.

Composition of the Conference.

1. The Conference consists of all the Delegates duly appointed by the Members of the International Labour Organisation.
2. Each Delegate may be accompanied by advisers who shall not exceed two in number for each item on the agenda of the meeting.
3. Seats in the Conference room shall be assigned to the Delegates and their advisers by the Governing Body.

Article 2.

Provisional Officers of the Conference.

The Conference shall be opened by the Chairman of the Governing Body of the International Labour Office, assisted by the other Officers of the Governing Body. These provisional officers shall continue to act until the President of the Conference has assumed his office.

Article 3.

Verification of Credentials.

1. The credentials of Delegates and their advisers shall be deposited with the International Labour Office at least 15 days before the date fixed for the opening of the Session of the

Conference.

2. A brief report upon these credentials, drawn up by the Chairman of the Governing Body, shall, with the credentials, be open to inspection by the Delegates on the day before the opening of the Session of the Conference. This report shall be published as an appendix to the record of the first sitting.

3. Any objections raised concerning the nomination of Delegates or advisers shall be lodged with the officers of the Conference and transmitted by them to the Committee charged with the verification of credentials, provided for by Article 7 C.

4. Any objection which is not lodged with the Officers of the Conference within three clear days of the opening of the Session of the Conference shall be null and void. In the case of credentials which, on account of very exceptional circumstances, are not deposited in time to be dealt with in the brief report referred to in paragraph 2 above, the period of three days shall run from the date of the publication of the names of the Delegates in the Provisional Record of the Session.

5. Nevertheless, where an objection is lodged concerning a delegation from a distant country and correspondence would therefore be subject to considerable delay, the said objection shall be admissible up to the date of the drafting of the final report.

6. Objections the authors of which remain anonymous and objections based upon facts or allegations which the Conference, by a debate and a decision referring to identical facts or allegations, has already discussed and recognised to be irrelevant or devoid of substance, shall not be receivable.

7. Pending final decision of the question of his admission, any

Delegate or adviser to whose nomination objection has been taken shall have the same rights as other Delegate and advisers.

Article 4.

Officers of the Conference.

1. The Officers of the Conference shall be a President and three Vice-Presidents, who shall be of different nationalities. They shall be elected by the Conference. Women may be elected to any of these offices.

2. The Government, Employers' and Workers' Groups shall each nominate one of their number as Vice-President subject to the approval of the Conference.

3. The order in which these nominations shall be made shall vary at each Session of the Conference. The Groups shall have priority of nomination in the following rotation: Government Group, Employers' Group, Workers' Group: beginning with the Group indicated by lot at the Fifth Session of the Conference.

4. If a Group nominates a Vice-President of the same nationality as the Vice-President nominated by a Group possessing priority of nomination, such nomination shall be void.

Article 5.

Secretariat.

1. The secretarial work of the Conference shall be carried out by officials of the International Labour Office appointed for the purpose by the Governing Body of the said Office.

2. The Director of the International Labour Office shall be the

Secretary-General of the Conference, and shall be responsible for the Secretariat. He may be assisted by one or more Assistant-Secretaries-General appointed by the Governing Body of the International Labour Office.

3. The Secretariat of the Conference shall be responsible *inter alia* for the receiving, printing, circulation and translation of documents, reports and resolutions; the translation of speeches at the sittings; the taking of shorthand notes, the printing and distribution of the reports of the proceedings; the custody of the records of the Conference; the publication of the final records of the Sessions, and, generally, for all other work which the Conference may think fit to entrust to it.

Article 6.

Procedure.

The procedure of the Conference shall be as follows:

1. If an objection has been lodged against any item on the agenda by the Government of any of the Members, the Conference, after hearing the report presented by the Governing Body thereon, shall, in accordance with Article 402 of the Treaty of Versailles, decide whether such item is to be retained on the agenda or not.

2. The Conference shall elect a Committee of Selection as provided in Article 7 B.

3. During the Session and on the date fixed by the Committee of Selection, the Conference shall discuss the report submitted by the Director of the International Labour Office on the steps taken to give effect to the decisions of previous Sessions and the results achieved.

4. When a question has been placed on the Agenda of the Conference, the International Labour Office shall submit to the Conference a preliminary report setting out the law and practice in the different countries. This report shall fix as completely as possible the points upon which the Governments are to be consulted and subject to the approval by the Governing Body or by a Committee of the Governing Body appointed for that purpose, it shall be communicated by the Office to the Governments before the opening of the Conference.

5. This report shall be submitted to a general discussion by the Conference either in full sitting or in Committee and if the Conference decides that the matter be suitable to form the subject of a Draft Convention or Recommendation it shall decide by the approval of conclusions or resolutions the points upon which the Governments are to be consulted. The Conference shall then decide in accordance with Article 402, paragraph 3, of the Treaty of Versailles whether the item shall be placed on the Agenda of the following Session.

6. The International Labour Office shall draw up on the basis determined by the Conference the questionnaire which it shall submit to the Governments within one month of the closing of the Session of the Conference.

7. On the basis of the replies from the Governments, the International Labour Office shall draw up a final report, which may contain a draft for a Convention, or a draft Recommendation. This report shall be communicated to the Governments by the International Labour Office and shall, if possible, reach them three months before the opening of the next Session of the Conference.

8. The Conference shall decide whether it will take as the

basis of discussion the drafts for conventions or draft recommendations prepared by the International Labour Office, and shall decide whether such drafts for conventions or draft recommendations shall be considered in full Conference or referred to a Committee for report. These decisions may be preceded by a debate in full Conference on the general principles of the suggested draft convention or recommendation.

9. If the draft convention or recommendation is considered in full Conference each clause shall be placed before the Conference for adoption. During the debate and until all the clauses have been disposed of, no motion other than a motion to amend a clause of such draft convention or recommendation, or a motion as to procedure, shall be considered by the Conference.

10. If the draft convention or recommendation be referred to a Committee, the Conference shall, after receiving the report of the Committee, proceed to discuss the draft convention or recommendation in accordance with the rules laid down in paragraph 9. This discussion shall not take place before the day following that on which copies of the report have been circulated to the Delegates.

11. During the discussion of the articles of a draft convention or recommendation, the Conference may refer one or more articles to a Committee.

12. If a draft Convention contained in the report of a Committee is rejected by the Conference, any Delegate may ask the Conference to decide forthwith whether the draft convention shall be referred back to the Committee to consider the transformation of the draft convention into a recommendation. If the Conference decides to refer the matter back, the report of the Committee

shall be submitted to the approval of the Conference before the end of the Session.

13. The provisions of a draft convention or recommendation as adopted by the Conference shall be referred to the Drafting Committee provided for in Article 7, for the preparation of a final text. This text shall be circulated to the Delegates.

14. No amendment shall be allowed to this text, but notwithstanding this provision the President, after consultation with the three Vice-Presidents, may submit to the Conference amendments which have been handed to the Secretariat the day after the circulation of the text as revised by the Drafting Committee.

15. On receipt of the text prepared by the Drafting Committee and after discussion of the amendments, if any, submitted in accordance with the preceding paragraph, the Conference shall proceed to take a final vote on the adoption of the draft convention or recommendation in accordance with Article 405 of the Treaty of Versailles.

16. If a draft convention on a final vote fails to obtain the necessary two-thirds majority, but obtains a simple majority, the Conference shall decide forthwith whether the draft convention shall be referred to the Drafting Committee to be drafted in the form of a recommendation. If the Conference approves the reference to the Drafting Committee, the proposals contained in the draft convention shall be submitted for the approval of the Conference in the form of a recommendation before the end of the Session.

17. After the adoption of the French and English authentic texts, official translations of the Draft Conventions and Recommendations may, at the request of interested Governments, be drawn up by the Director of the International Labour Office and

deposited with the Secretary-General of the League of Nations. It will be open to the Governments concerned to consider such translations as authoritative in their respective countries for the application of the Conventions and Recommendations.

Article 6 a.

Procedure in case of revision of a Convention.

When the revision in whole or in part of a Convention which has been previously adopted by the Conference is included in the Agenda, the provisions of paragraphs 4 to 13 inclusive and 16 of Article 6 shall not apply and the Conference shall proceed in accordance with the following provisions:

1. The International Labour Office shall submit to the Conference draft amendments drawn up in accordance with the conclusions of the report of the Governing Body recommending the revision in whole or in part of the Convention previously adopted and corresponding to the question or questions in respect of which a proposal for revision has been placed on the Agenda. In accordance with Article 400 of the Treaty of Versailles and subject to the provisions of Article 402, paragraph 3, of the said Treaty, the Conference shall not revise in whole or in part a Convention which has previously been adopted by it save in respect of the question or questions placed by the Governing Body on the Agenda of the Session.

2. The Conference shall decide whether it will take as the basis of discussion the draft amendments prepared by the International Labour Office, and shall decide whether they shall be considered in full Conference or referred to a Committee for report. These

decisions may be preceded by a debate in full Conference on the general principles of the proposed revision in whole or in part within the limits permitted by the Agenda.

3. If the draft amendments are considered in full Conference, each of them shall be placed successively before the Conference for adoption. During the debate, and until all the draft amendments have been disposed of, no motion other than a motion to amend the text of one of them, or a motion as to procedure shall be considered by the Conference.

4. If the draft amendments be referred to a Committee, the Conference shall, after receiving the report of the Committee, proceed to discuss the text of each draft amendment in succession, in accordance with the rules laid down in the last preceding paragraph. The discussion shall not take place before the day following that on which copies of the report have been circulated to the Delegates.

5. During the discussion of the draft amendments the Conference may refer one or more of them to a Committee.

6. The amendments together with consequential amendments of the unamended provisions of the Convention under revision, as adopted by the Conference, shall be referred to the Drafting Committee, which shall combine with them the unamended provisions of the Convention under revision, so as to establish the final text of the Draft Convention in the revised form. This text shall be circulated to the Delegates.

Article 7.

Committees.

A. *Provisions applicable to all Committees.*

1. In accordance with Article 403 of the Treaty of Versailles, the Conference may set up Committees for any purpose which it consider desirable.

2. The work of such Committees other than those specified in paragraphs C and D of the present Article shall be governed by the Standing Orders for Committees of the Conference.

3. As a general rule the sittings of the Committee shall not take place at the same time as a plenary sitting of the Conference.

4. In accordance with Article 404 of the Treaty of Versailles the Conference may add to any Committees which it set up other than those specified in paragraphs C and D of this Article technical experts who shall have the right to take part in the discussions but not the right to vote.

B. *Committee of Selection.*

1. As provided in Article 6, the Conference shall, as soon as constituted, appoint a Committee of Selection nominated by the Groups and consisting of twelve members of the Government Group, six members of the Employers' Group, and six members of the Workers' Group. In none of these categories shall a country have more than one member.

2. The principal task of this Committee shall be to determine the order of work of the Conference, having regard to its decisions; it shall fix the date of the plenary sittings and the agenda of each sitting, and shall decide what resolutions are to be discussed by the Conference at each sitting.

3. It shall also determine, as hereinafter provided in this

Article, the constitution of the other Committees.

C. *Credentials Committee.*

1. The Conference shall elect a Committee to verify the credentials of Delegates and advisers. The Committee shall consist of a Government Delegate, an Employers' Delegate and a Workers' Delegate, whose names shall be proposed to the Conference by the Committee of Selection.

2. The Credentials Committee shall consider whether any objections which may have been submitted concerning the nomination of Delegates or advisers satisfy the conditions of receivability defined in Article 3. If the Committee reaches a unanimous conclusion as to the receivability of an objection, its decision shall be final. If the Credentials Committee does not reach a unanimous conclusion, the Conference shall, without further discussion, decide whether the objection is receivable, on being furnished with a record of the discussions which took place in the Committee, together with a report in which is set forth the opinion of the majority and minority of its members.

3. The Credentials Committee shall consider whether objections concerning the nomination of Delegates or advisers are well founded, and shall submit an immediate report to the Conference on the cases referred to either in the report of Chairman of the Governing Body provided for in Article 3, or in the individual objections which have been considered receivable.

D. *Drafting Committee.*

1. The Committee of Selection shall appoint a Drafting Committee consisting of at least three persons, who need not be either Delegates or advisers.

The special Drafting Committee appointed by each Committee under Article 4 (1) of the Standing Orders for Committee of the Conference shall form part of the Drafting Committee of the Conference when any Draft Convention or Recommendation is submitted to the Conference by the Committee concerned.

2. The Drafting Committee of the Conference shall draw up in the form of draft conventions or recommendations the decisions adopted by the Conference. It shall ensure agreement between the French and English texts of any draft conventions or recommendations, the translation of which is undertaken by the Secretariat.

E. *Committee on resolutions.*

1. The Conference shall elect a Committee, composed of equal numbers of Government, Employers' and Workers' Delegates, to examine the resolutions submitted other than those relating to items on the Agenda.

2. The Committee shall examine the receivability of the resolutions both as regards the time-limits for their submission and as regards the competence of the Conference, and shall consider their expediency.

3. After hearing the authors of the resolutions, the Committee may make such amendments of substance or of form as it may consider desirable in the resolutions which have been submitted to it.

4. One of the special duties of the Committee shall be to distinguish, by appropriate drafting, resolutions which call for formal decisions by the Conference involving exact legal consequences from resolutions involving no legal obligations which are

destined for the Governing Body, Governments or any other body.

5. The Committee shall submit a report to the Conference.

6. In accordance with Article 13 of the Standing Orders of the Conference, any resolution involving expenditure shall in the first instance be referred by the Committee to the Governing Body for consideration.

F. Other Committees.

1. When it has been decided to set up any Committee other than those specified in C and D the Committee of Selection, having fixed the number of persons of which such Committee shall be composed, shall ask each group to furnish a list setting out in order of preference a larger number of names than there are places allotted to the group on the Committee in question.

2. The Committee of Selection shall examine the lists furnished by the three Groups and, if it appears desirable that any adjustment should be made in the composition of the Committee so as to secure representation more adequate for the subject with which the Committee will deal or more satisfactory as regards the allocation of seats to the various nationalities, shall endeavour to secure such adjustment, subject to the approval of the representatives of the groups who are present.

If a Delegate has not been nominated by his group to sit on a single Committee, he may bring the matter to the notice of the Selection Committee, which shall have the power to place him on one or more Committees, enlarging the number of members of this or these Committees accordingly.

Article 8.

Right of admission to sittings of the Conference.

1. The sittings of the Conference shall be public except in cases where it has been expressly decided to the contrary.

2. At public sittings arrangements shall be made by the Secretariat of the Conference for the accommodation of distinguished strangers and the press.

3. Apart from delegates and advisers the only persons permitted to enter the body of the hall shall be:

(a) Ministers whose departments deal with the questions discussed by the Conference and who are not Delegates or advisers;

(b) One secretary or interpreter for each Delegation;

(c) Representatives on the Governing Body who are not delegates or advisers at the Conference;

(d) The Director of the International Labour Office and the officials of the Secretariat of the Conference.

(e) The Secretaries of the Employers' and Workers' Groups.

(f) Persons appointed by Members of the Organisation to occupy advisers' posts which may fall vacant in their delegations.

Article 9.

Duties of the President.

1. The President shall declare the opening and close of the sittings. Before proceeding to the agenda, he shall bring before the Conference any communications which may concern it.

2. He shall direct the debates, maintain order, ensure the observance of the Standing Orders by such means as circumstances may demand, accord or withdraw the right to address the

Conference, put questions to the vote and announce the result of the vote.

3. The President shall not take part in the debates and shall not vote. If he is himself a Delegate he may appoint a substitute in accordance with the provisions of Article 18.

4. In the absence of the President during a sitting or any part thereof one of the Vice-Presidents, taken in rotation, shall preside.

5. A Vice-President acting as President shall have the same rights and duties as the President.

Article 10.

Right to address the Conference.

1. No Delegate shall address the Conference without having asked and obtained permission of the President.

2. Speakers shall be called upon in the order in which they have signified their desire to speak.

3. No Delegate shall speak more than once upon the same motion, resolution or amendment, without the special permission of the Conference, provided that the mover of a motion, resolution or amendment shall have the right to speak twice unless the closure has been adopted in accordance with Article 14.

4. The President may require a speaker to resume his seat if his remarks are not relevant to the subject under discussion.

5. A Delegate may at any time rise to a point of order, which shall be decided forthwith by the President.

6. Except with the special consent of the Conference no speech shall exceed 15 minutes exclusive of the time for translation.

7. Interruptions and audible conversations are not permitted.

8. Ministers whose departments deal with the questions discussed by the Conference and who are not Delegates or advisers, members of the Governing Body who are not Delegates or advisers at the Conference, and the Director of the International Labour Office or his representative may address the Conference if invited to do so by the President.

Article 11.

Languages.

1. The French and English languages shall be the official languages of the Conference.

2. Speeches in French shall be summarised in English and *vice versa* by an interpreter belonging to the Secretariat of the Conference.

3. A delegate may speak in a non-official language, but his Delegation must provide for a summarised translation of his speech into one of the two official languages by an interpreter attached to the Delegation, unless an interpreter of the Conference for the official languages can be placed at its disposal by the Secretariat of the Conference. This summarised translation shall then be rendered in the other official language by an interpreter belonging to the Secretariat.

4. The translation and circulation of documents shall be in the hand of the Secretariat and the practice adopted at the Washington Conference as regards translation and distribution of documents in the Spanish language shall be continued.

Article 12.

Motions, resolutions and amendments.

1. Any Delegate may move motions, resolutions or amendments, in accordance with the following rules.

2. No resolution relating to an item on the agenda shall be moved at any sitting of the Conference unless a copy has been handed in to the Secretariat of the Conference at least two days previously. Any resolution thus handed in shall be circulated by the Secretariat not later than the day following that on which it was received.

3. Amendments to a resolution may be moved without previous notice provided always that a copy of the text of any amendment shall be handed in to the Secretariat of the Conference before such amendment is moved. If an amendment to a resolution has been moved no amendment other than an amendment to the original amendment shall be moved until the original amendment has been disposed of. Amendment shall be voted on before the resolution to which they refer.

4. A Delegate may withdraw an amendment which he has moved unless an amendment to it is under discussion or has been adopted.

5. In the case of motions as to procedure, no previous notice need be given, nor need a copy be handed in to the Secretariat of the Conference. Motions as to procedure include the following: a motion to refer the matter back; a motion to postpone consideration of the question; a motion to adjourn the sitting; a motion to adjourn a debate on a particular question; a motion that the Conference proceed with the next item on the agenda

for the sitting.

6. No motion, resolution or amendment shall be discussed unless and until it has been seconded.

7. Except as hereinafter provided, no resolution other than those relating to items on the agenda shall be moved at any sitting of the Conference unless a copy has been deposited with the Director of the International Labour Office at least seven days before the date fixed for the opening of the Session of the Conference. Any resolution so deposited shall be distributed to the delegates by the International Labour Office not later than the date fixed for the opening of the Session of the Conference and shall be referred for examination to the Committee on Resolutions in accordance with Article 7, Section E, above.

8. Notwithstanding the above provisions, the President may, with the approval of the other officers of the Conference and after 24 hours' notice has been given of his intention, submit to the Conference any resolution relating either to urgent matters or to matters of an entirely formal nature. Any such resolution shall also be referred for examination to the Committee on Resolutions in accordance with Article 7, Section E, above.

Article 13.

Proposals involving expenditure.

Any motion or resolution involving expenditure shall in the first instance be referred to the Governing Body, which, after consultation of its Finance Committee, shall communicate its opinion to the Conference. This communication shall be circulated to

the delegates at least 24 hours before the motion or resolution is discussed by the Conference.

Article 14.

Closure.

1. Any delegate may move the closure of the discussion either on a particular resolution or amendment or on the general question.

2. The President shall put a motion for the closure of the discussion if it is supported by at least thirty delegates. Before putting it to the vote, however, he shall read out the names of those delegates who had signified their wish to speak before the closure had been moved.

3. The President shall permit each group which makes a request to that effect through its Chairman to be heard on the question under discussion through one speaker appointed by the group, whether there has been a previous speaker or not representing the group.

4. If application is made for permission to speak against the closure, it shall be accorded subject to the condition that no speaker shall be allowed to speak for more than five minutes.

5. Subject to the foregoing clauses, no one shall be allowed to speak on a question after the closure has been voted.

Article 15.

Voting.

1. The Conference shall vote by a show of hands or by a

record vote.

2. Voting shall be by a show of hands except as hereinafter provided.

3. Votes by a show of hands shall be counted by the Secretariat and the result announced by the President.

4. In case of doubt as to the result, the President may cause a record vote to be taken.

5. A record vote shall be taken in all cases in which a majority of two-thirds of the votes is required by Part XIII of the Treaty of Versailles.

6. A record vote may also be taken on any question if a request to that effect has been made in writing by not less than 20 delegates and handed in to the President.

7. Record votes shall be taken by calling upon each individual delegate, each Delegation voting in turn in the French alphabetical order of the names of the Members of the International Labour Organisation.

8. The vote shall be recorded by the Secretariat and announced by the President.

9. The names of the Delegates voting in a record vote shall be inserted in the verbatim report of the sitting.

10. Except as provided in paragraph 4 of this Article, it shall not be within the competence of the President to cause a record vote to be taken.

Article 16.

Quorum.

1. In accordance with Article 403 of the Treaty of Versailles

a vote is not valid if the number of votes cast for and against is less than half the number of delegates officially inscribed for the Session of the Conference and having the right to vote (Article 390, paragraph 2). This number shall be determined after the presentation of the brief report referred to in paragraph 2 of Article 3. If any delegate is not finally admitted the number constituting the quorum shall be modified accordingly for the subsequent sittings.

2. Where a quorum has not been obtained in a vote by a show of hands, the President may immediately take a record vote. He shall be obliged to do so if a record vote is called for by ten members of one group present at the time when the vote is demanded.

Article 17.

Majority.

In order to determine the majorities by record vote all votes cast, for and against, shall be counted, so that in order to be adopted, it is necessary that the proposal submitted to the Conference obtain, as the case may be, more than half, or two-thirds of the votes cast.

Article 18.

Substitutes.

1. In accordance with Article 389 of the Treaty of Versailles a delegate may by notice in writing addressed to the President appoint one of his advisers to act as his substitute. Such notice

must be addressed to the President before the sitting, unless a new question comes up for discussion in the course of the sitting. The notice shall specify the sitting or sittings at which the substitute will act.

2. Substitutes may take part in the debates and may vote under the same conditions as delegates.

Article 19.

Verbatim Reports.

1. Verbatim report shall be printed at the conclusion of each sitting by the Secretariat. There shall be included in the report the list of delegates present at the sitting, together with any texts adopted and the results of any votes taken.

2. Before the report is printed in its final form, any delegate may demand the right to revise any part of the report containing a speech which he has made. Speeches or parts of speeches that have not been delivered during the sitting shall not be published in the report.

3. In order that any proposed corrections may be inserted, they should be handed in to the Secretariat during the evening following the sitting.

4. The verbatim report shall be signed by the President of the Conference and the Secretary-General.

Article 20.

Election of the Governing Body of the International Labour Office.

1. The Conference shall proceed every three years in the

course of its Session to elect the Governing Body of the International Labour Office in accordance with Article 393 of the Treaty of Versailles.

2. For this purpose, the Government Delegates of all the Members, excepting those of the eight Members of chief industrial importance within the meaning of the said Article, shall meet in order to select the four Members whose Governments shall nominate representatives to the Governing Body.

3. The delegates of the Employers and of the Workers shall meet separately in order to elect their six representatives to the Governing Body. These representatives shall be elected by name.

4. If a vacancy in the Governing Body occurs among the Employers' or Workers' representatives, and if the Governing Body has not, in accordance with Article 393 of the Treaty of Versailles, provided for the method of filling such vacancies, the Delegates at the Conference belonging to the category concerned shall assemble during the course of the ensuing Session in order to fill the vacancy.

5. If the Governing Body has, in accordance with Article 393 of the Treaty of Versailles, provided for the filling of vacancies, the decisions taken by the Governing Body in this respect shall be submitted to the Conference for its approval or otherwise.

6. If the decisions of the Governing Body are not approved by the Conference, a new election shall be held in accordance with the provisions of paragraph 2 and 3 hereof.

Article 21.

Standing Orders for the Groups.

1. Each Group shall hold official meetings in order to transact the following business :

- (a) The nomination of a Vice-President (Article 4).
- (b) The nomination of members for the Committee of Selection (Article 7 B).
- (c) The nomination of members for other Committee (Article 7 F).
- (d) Elections for the Governing Body (Article 20).
- (e) Any other matters referred to Groups by the Committee of Selection or by the Conference.

2. The first of these official meetings shall be held as soon as possible after the Conference meets. At this first meeting a representative of the Secretariat shall be present, if the Group so desires, to inform the Group as to procedure, and the Group shall elect a Chairman, a Vice-Chairman and a Secretary. The Chairman and the Vice-Chairman shall be selected from among the Delegates and advisers constituting the Group; the Secretary may be elected from among persons outside the Group.

3. The Secretary of each Group shall report forthwith to the officers of the Conference the results of all official meetings.

4. The Group may at any time hold non-official meetings for discussion or for the transaction of non-official business.

5. At official meetings only delegates shall vote, provided always that a delegate may, by notice in writing to the President, appoint one of his advisers to act as his substitute, if he himself is unable to be present, in accordance with the provisions of Article 18 for the meetings of the Conference.

6. In making nominations for Committees, the Government Group shall proceed as follows :

As soon as the Selection Committee has come to a decision as to the number of Committee to be set up, the Delegates of each Government shall inform the Secretary of the Group, in writing, upon which Committee their Government desires representation and in what order of preference.

The Secretary shall thereupon prepare for each Committee a list showing what Governments desire representation thereon and the order of their preference. These lists shall be communicated to the members of the Group.

The Group shall first make its nominations for that Committee for which there are the largest number of candidates. After the member of the first Committee have been nominated the same principle shall be followed in respect of the remaining Committees.

Article 22.

Procedure of voting at elections.

1. The President of the Conference or a person nominated by him shall direct the actual procedure of voting in elections required for the appointment of Committees, of the Governing Body or of the Vice-President of the Conference; he shall convoke in due time the Delegates who have a right to vote, shall see that the votes are regularly counted and shall communicate to the Conference the results of the election.

2. At least twenty-four hours' notice shall be given of meetings for the election of representatives to the Governing Body.

STANDING ORDERS FOR COMMITTEES OF THE CONFERENCE.

Article 1.

Scope.

Subject to the following exceptions these Standing Orders shall apply to all Committees set up by the Conference:

(a) they shall not apply to the Credentials Committee and Drafting Committee provided for in sections C and D respectively of Article 7 of the Standing Orders of the Conference;

(b) there shall not apply to the Committee of Selection provided for in Article 7 B of the Standing Orders of the Conference:

(i) the words "and in agreement with the Committee of Selection" in paragraph 1 of Article 3;

(ii) Articles 9, 11 and 14.

Article 2.

Officers.

1. The first sitting of each Committee shall be opened by an official of the Secretariat of the Conference appointed for the purpose by the Secretary-General. This official shall conduct the business until the Chairman has been elected.

2. Each Committee shall elect a Chairman and two Vice-

Chairmen chosen one from each of the three groups.

3. Each Committee shall then elect from among its members one or more Reporters to present the result of its deliberations to the Conference on its behalf. Before presenting a report to the Committee for its approval, the Reporter or Reporters shall submit it to the Officers of the Committee.

4. The Chairman, Vice-Chairmen and Reporters may be either Delegates or advisers.

Article 3.

Duties of the Chairman.

1. The Chairman shall declare the opening and close of the sittings. After consulting the two Vice-Chairmen and in agreement with the Committee of Selection he shall fix the date and time of the sittings. Before proceeding with the agenda, he shall bring before the Committee any communications which may concern it. He shall direct the debates, maintain order, ensure the observance of the Standing Orders, accord or withdraw the right to address the Committee in accordance with the provisions of the present Standing Orders, put questions to the vote and announce the result of the vote.

2. He shall have the right to take part in the discussions and to vote except when replaced on the Committee by a substitute, but he shall not have a casting vote.

3. The Vice-Chairmen shall preside alternately over the sittings or parts of sittings at which the Chairman cannot be present.

Article 4.

Drafting Committees and Sub-Committees.

1. Each Committee to which the Conference, in accordance with paragraph 8 of Article 6 of the Standing Orders of the Conference, refers as a basis of discussion texts of proposed Draft Conventions or Recommendations shall set up at an early sitting a special drafting Committee consisting of one Government Delegate, one Employers' Delegate and one Workers' Delegate together with the Reporter or Reporters of the Committee and the legal advisers of the Conference. In so far as may be possible the special drafting Committee shall comprise members conversant with both official languages. The special Drafting Committee may be assisted by the officials of the Secretariat of the Conference attached to each Committee as experts on the particular item of the agenda concerned. The special Drafting Committee shall form part of the Drafting Committee of the Conference when any draft Convention or Recommendation is submitted to the Conference by the Committee concerned.

2. Each Committee shall have power to set up Sub-Committees after due notice has been given to the three groups in the Committee.

3. The Chairman of a Committee shall be entitled to attend the meeting of the special Drafting Committee and of the Sub-Committees set up by the Committee.

Article 5.

Substitutes.

Each group shall define the conditions under which its members serving on any Committee may be replaced by substitutes.

Article 6.

Secretariat.

The Secretary-General shall appoint an official of the secretariat of the Conference to act as secretary to each Committee. This official will be required to undertake such additional duties as may be decided upon by the Committee or the Chairman.

Article 7.

Languages.

1. The French and English languages shall be the official languages of the Committees.

2. Speeches in French shall be summarised in English and *vice versa* by an interpreter belonging to the secretariat of the Conference.

3. A Delegate may speak in a non-official language, but his Delegation must provide for a summarised translation of his speech into one of the two official languages by an interpreter attached to the Delegation, unless an interpreter of the Conference for the official languages can be placed at its disposal by the secretariat of the Conference. This summarised translation shall then be rendered in the other official language by an interpreter belonging to the secretariat.

4. In cases where at least one-fifth of the members of a Committee taking an actual part in its work either as regular members or as substitutes declare individually and in writing that it is difficult for them to take part in the proceedings of the Committee in either of the official languages and ask for an additional interpretation into another language with which they

are conversant, the Committee shall accede to that request provided that the secretariat of the Conference is able to supply the necessary interpreters.

5. In cases where the number of members of a Committee who ask for an additional interpretation into a non-official language in the conditions laid down in the above paragraph is less than one-fifth of the number of members, the Committee shall decide whether it shall accede to the request as an exceptional measure and provided that the secretariat of the Conference is able to furnish the necessary interpreters.

Article 8.

Right to address the Committee.

1. No-one shall be entitled to address a Committee unless he has asked and obtained permission of the Chairman who shall call upon speakers in the order in which they have signified their desire to speak.

2. The Chairman may withdraw the right to speak from any speaker whose remarks are not relevant to the subject under discussion.

3. The Secretary-General of the Conference or his representatives may, with the permission of the Chairman, address Committees, Sub-Committees or special drafting Committees,

4. Except with the special consent of the Committee, no speech may exceed 10 minutes exclusive of the time for the translation.

Article 9.

Resolutions, Amendments and Motions.

1. Any member of a Committee may move resolutions, amendments or motions in accordance with the following rules:

2. All resolutions and amendments must be submitted in writing in one of the official languages and communicated to the secretariat of the Committee within the following time limits: before 5 p. m. to enable the resolution or amendment to be discussed at a meeting to be held on the following morning or before 11 a. m. to enable the resolution or amendment to be discussed at a meeting to be held in the afternoon of the same day.

3. The texts of resolutions and amendments shall be translated into the other official language and distributed before the discussion to all members of the Committee present at the sitting.

4. Only amendments to amendments already submitted under the conditions referred to above may be submitted during a sitting of a Committee for discussion at that sitting. Such amendments shall be submitted in writing in one of the official languages.

5. If there are several amendments to a motion or resolution, the Chairman shall determine the order in which they shall be discussed and put to the vote, subject to the following provisions:

(a) Every motion, resolution and amendment shall be put to the vote;

(b) Amendments may be voted on either individually or against other amendments according as the Chairman may decide, but before a motion or resolution itself is deemed to be amended it shall be directly tested by vote against the amendment amending it;

(c) If a motion or resolution is amended as the result of a

vote, that motion or resolution as amended shall be put to the meeting for a final vote.

6. Any amendment may be withdrawn by the person who moved it unless an amendment to it is under discussion or has been adopted. Any amendment so withdrawn may be moved without previous notice by any other person entitled to take part in the discussions of the Committee.

7. No resolution, amendment or motion shall be discussed unless it has been seconded.

8. No previous notice need be given nor need a copy be handed in to the secretariat of the Committee in the case of motions such as: a motion to refer the matter back; a motion to postpone consideration of the question; a motion to adjourn the sitting; a motion to adjourn a debate on a particular question; a motion that the Committee proceed with the next item on the agenda; a motion to ask for the opinion of the Chairman, the secretariat or the legal adviser of the Conference.

9. Any member may at any time draw attention to the fact that the Standing Orders are not being observed and the Chairman shall give an immediate ruling on any question so raised.

Article 10.

Closure.

1. Any member of a Committee may move the closure either on a particular amendment or on the general question.

2. The Chairman shall put a motion for the closure if it is supported by at least one-fifth of the members of the Committee present at the sitting. Before putting it to the vote, however, he

shall read out the names of those persons who have already signified their wish to speak and they shall still have the right to speak after the closure has been voted.

3. If application is made for permission to speak against the closure, it shall be accorded to one speaker from each group. If the closure is voted, one member from each group no member of which has already signified his wish to speak under the conditions provided for in the preceding paragraph may speak on the question under discussion.

Article 11.

Right to partake in the work of Committees.

In addition to the members of Committees, any Delegate or any technical adviser who has received a written authorisation for the purpose from the Delegate to whom he is attached shall be entitled to be present at the meetings and shall have the full rights of the members of the Committee except the right to vote.

Article 12.

Voting.

1. Decisions shall be taken by a simple majority of the votes cast by the members of the Committee present at the sitting.
2. Committees shall vote by a show of hands or by a record vote.
3. If the result of a vote by a show of hands is challenged, the Chairman shall cause a record vote to be taken.
4. A record vote shall also be taken if a request to that effect

is made by not less than one-fifth of the members present at the sitting.

5. The vote shall be recorded by the secretariat and announced by the Chairman.

6. No resolution, amendment or motion shall be adopted if an equal number of votes are cast for and against.

Article 13.

Quorum.

1. A vote is not valid if the number of votes cast for and against is less than two-fifths of the total number of members of the Committee.

2. Where a quorum has not been obtained in a vote by a show of hands, the Chairman may immediately take a record vote. He shall be obliged to do so if a record vote is called for by not less than one-fifth of the members of the Committee present at the sitting.

Article 14.

Minutes.

1. No verbatim record will be made, but, as far as may be possible, after each sitting of a Committee the secretariat will draw up minutes which will be roneographed and circulated to the members. These minutes will only be a summarised record of the proceedings, their primary object being to record the decisions of a Committee.

2. Any corrections to the minutes should be communicated

within twenty-four hours to the secretariat of the Committee which will arrange for their distribution as early as possible to members of the Committee. A copy of the minutes in which these corrections have been inserted will be kept in the archives of the International Labour Office.

MEMBERS OF THE INTERNATIONAL LABOUR ORGANISATION.

| | |
|---------------------|-------------------|
| Albania. | Greece. |
| Argentine Republic. | Guatemala. |
| Australia. | Haiti. |
| Austria. | Honduras. |
| Belgium. | Hungary. |
| Bolivia. | India. |
| Brazil. | Irak. |
| British Empire. | Irish Free State. |
| Bulgaria. | Italy. |
| Canada. | Japan. |
| Chili. | Latvia. |
| China. | Liberia. |
| Colombia. | Lithuania. |
| Cuba. | Luxemburg. |
| Czechoslovakia. | Mexico. |
| Denmark. | Netherlands. |
| Dominican Republic. | New Zealand. |
| Esthonia. | Nicaragua. |
| Ethiopia. | Norway. |
| Finland. | Panama. |
| France. | Paraguay. |
| Germany. | Persia. |

Peru.
Poland.
Portugal.
Roumania.
Salvador.
Siam.
South Africa.

Spain.
Sweden.
Switzerland.
Turkey.
Uruguay.
Venezuela.
Yugoslavia.

GOVERNING BODY OF THE INTERNATIONAL LABOUR OFFICE.

The present composition of the Governing Body is as follows :

(a) One representative of the Government of each of the following twelve Members of the International Labour Organisation :

| | |
|----------|----------------|
| Belgium. | Great Britain. |
| Brazil. | India. |
| Canada. | Italy. |
| Denmark. | Japan. |
| France. | Poland. |
| Germany. | Spain. |

(b) Six representatives of the Employers :

Mr. Erulkar (India)
Mr. Forbes Watson (Great Britain)
Mr. Lambert-Ribot (France)
Mr. Oersted (Denmark)
Mr. Olivetti (Italy)
Mr. Vogel (Germany)

Deputy members :

Mr. Cort van der Linden (Netherlands)
Mr. Tchourtchine (Yugoslavia)
Mr. Gemmil (South Africa)
Mr. Lecock (Belgium)
Mr. Tzaut (Switzerland)
Mr. Vanêk (Czechoslovakia)
Mr. Miyajima (Japan)

(c) Six representatives of the Workers :

Mr. Hayday (Great Britain)
Mr. Johanson (Sweden)
Mr. Jouhaux (France)
Mr. Mertens (Belgium)
Mr. Chürch (Switzerland)
Mr. Leuschner (Germany)

Deputy members :

Mr. Carrillo (Spain)
Mr. Krekitch (Yugoslavia)
Mr. Schorsch (Austria)
Mr. Schevenels (Belgium)
Mr. Suzuki (Japan)
Mr. Zulawski (Poland)

Chairman of the Governing Body :

Mr. C. V. Bramsnaes, representative of the Danish
Government.

DIRECTOR OF THE INTERNATIONAL LABOUR OFFICE

Mr. H. B. Butler.

PATENTED NO. 119016

CAT. NO. 853

"F - M"

PAMPHLET BINDERS

are carried in stock in the following sizes

| Catalog No. | High | Wide | Thick |
|-------------|---------|------------|---------|
| 851 (菊倍) | 30. cm. | x 22.5 cm. | x 1 cm. |
| 852 (四六倍) | 26. " | x 18.5 " | x 1 " |
| 853 (菊) | 22.5 " | x 15. " | x 1 " |
| 854 (四六) | 18.5 " | x 12.5 " | x 1 " |
| 855 (特) | 24. " | x 15. " | x 1 " |

Special sizes are made to order

Library Supplies in All Kinds

F. MAMIYA & CO

OSAKA-TOKYO-FUKUOKA

